

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（161）」

2. 日時：令和5年5月31日(水) 16時00分～18時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

北海道電力株式会社：松村執行役員 他11名

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準地震動の策定について【変更箇所 抜粋】

<<本年5月19日に受取済み>>

・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答

・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
00:00:03	規制庁谷です。時間になりましたのでヒアリングを始めます。今日ヒアリングの案件としては、まず泊3号炉の基準地震動の策定についてということで、
00:00:16	5月30日、今日受け取った資料ですね。
00:00:19	これを先にやった後に、そのあとですね基準、
00:00:27	基準津波に係るコメント回答ということで、
00:00:31	これは5月19日に出てきてる資料。
00:00:35	で、説明をいただくと、まずですね、二つ分けてやろうと思っておりますのでまず基準地震動の策定の方から、
00:00:43	資料説明していただけたらと思います。
00:00:47	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリング地震動津波ですけどよろしくお願いたします。まず基準地震動ということで、
00:00:58	前回ヒアリングの中でからの変更概要のところ意識、変更しましたのでその部分、ご説明させていただきます。説明は高橋からで10分程度予定しておりますよろしくお願いたします。
00:01:13	はい。北海道電力の高橋です。それでは基準地震動の策定について、前回ヒアリングでの指摘事項を踏まえた修正箇所を中心にご説明させていただきます。
00:01:23	本日資料ですね3ページに目次、付けておりますがこちらの意匠を検討概要の部分をHead甲賀箇所の抜粋としてお持ちしてございます。
00:01:35	6ページをお願いたします。
00:01:39	今回評価においては、断層モデルを用いた手法による基準地震動の策定の選定方法、こちらの方を変更してございますけれども、その変更内容をお示しするとともに、
00:01:50	変更理由を記載してございます。
00:01:53	前回会合においては、Ss1を上回る周期で最大のスペクトルとなる地震動を基準地震動として設定するとともに、検討用地震ごとに、Ss1を下回る部分であっても、
00:02:06	3方向で地震動レベルが優位に大きい地震動を基準地震動として追加設定してございました。
00:02:12	しかしながら、Ss1を下回る部分の地震動レベルを確認し、幅広に地震動を選定しているということから、施設に与える影響が、
00:02:23	Ss1に対して相対的に小さい地震動も、基準地震動として設定されてございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:30	そこで、今回評価におきましては、Ss1を上回る部分、この部分を検討対象としまして、その部分の地震動レベルを確認することで、水平鉛直の同時入力評価を含めて、
00:02:42	施設に大きい影響を与える地震動が設定できると、を整理してごさいます。従いまして、Ss1を上回る部分で最大の応答スペクトルとなる地震動を選定するとともに、
00:02:55	Ss1を考慮することで、施設に大きい影響を与える地震動が選定されるということから、Ss1を上回る周期体で最大のスペクトルとなる地震動のみを基準地震動として設定することといたしました。
00:03:09	なお、検討用地震ごとに、地震動の諸特性の傾向に特徴があるということから、検討用地震ごとに、地震動のレベルを下の確認を念のため実施してごさいます。
00:03:21	7ページをお願いいたします。
00:03:25	選定方法につきまして前回会合と今回100回、今回評価を対比してお示ししてごさいます。
00:03:32	今回評価の選定方法について、実際の選定プロセスと整合するように、表の右下になりますけれども、検討用地震ごとの地震動レベルの確認方法と、
00:03:44	いうところを修文してごさいます。
00:03:46	具体的には比較する基準地震動としまして、他の検討用地震の基準地震動を含むこと、さらには、他の検討用地震の地震、基準地震動との比較にあたっては、
00:03:58	比較対象となる検討用地震と類似した地震諸元であることを確認することを追記してごさいます。
00:04:06	8ページをお願いいたします。
00:04:10	基準地震動の設定結果につきまして前回会合の設定結果と今回の設定結果を比較してごさいます。
00:04:18	前回ヒアリング資料からの変更点としまして、下の箱書き、二つ目の丸で、前回会合で、基準地震動としていました迫田海野断層による地震の3ケースにつきまして、
00:04:31	Ss1及びSs2-1との比較により、施設影響が小さいと判断し、基準地震動として設定しない旨の記載を追加してごさいます。
00:04:42	9ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:46	前回審査会合からの変更点をお示ししてございます。このページにつきましては、前回ヒアリングで本文中に記載していたものでございますけれども、今回資料におきましては、概要にも記載することを変更してございます。
00:05:01	また、記載内容としまして、今回評価において、層厚 40° ケースの傾斜角破壊開始点 2 番から 4 番の 3 ケース、こちらを基準地震動として設定しない理由として、
00:05:14	3 ケースの地震動レベルが、Ss1 に対して大きく上回るものではなく、水平方向の地震動レベルは、Ss1 を下回ることから、
00:05:23	Ss1 より施設影響が小さくなることについて、箱書きの二つ目のマルに追記してございます。
00:05:32	10 ページ以降は、今回の評価の概要を示しておりますが、読みやすさの観点から資料構成等を変更してございますので、その部分をご説明させていただきます。
00:05:43	ページ飛びまして 20 ページ目をお願いいたします。
00:05:50	20 ページ以降には、検討用地震ごとの地震動レベルの確認結果を示しておりますか。前回ヒアリングでは確認結果と確認事項の記載が混在してございました。
00:06:02	そこで、今回資料におきましては、20 ページで確認事項を記載しまして、21 ページの方に、確認結果を記載するとの構成に見直してございます。
00:06:13	22 ページ 23 ページの連動断層につきましても、同様の資料構成となっております。
00:06:20	ページ飛びまして 24 ページをお願いいたします。
00:06:25	24 ページ以降には、積丹の検討用地震ごとの地震動レベルの確認結果をお示ししてございます。
00:06:33	基本的には尻別川や連動断層と同様に、24 ページで、確認事項を記載しまして、25 ページ以降で、確認結果を記載する構成に見直してございます。
00:06:45	25 ページをお願いいたします。
00:06:49	積丹の地震動レベルの確認結果になりますけれども、前回ヒアリング資料からの変更点としまして、UD 方向で、Ss1 を上回る 4 ケースにつきまして、
00:07:01	それらの地震動レベルが、Ss1 に対して大きく上回るものでなく、水平方向の地震動レベル、こちらにつきましては、Ss1 を下回っていると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:12	いうことから、Ss1 より施設影響が小さく小さくなることにつきまして、箱書きの二つ目の丸に追記してございます。
00:07:21	26 ページをお願いいたします。
00:07:25	こちら前回ヒアリング資料からの変更点としまして、積丹以外の基準地震動との比較にあたって、地震諸元の確認結果を追加してございます。
00:07:37	具体的には、比較対象となります。尻別川の地震につきまして、積丹の地震と同様に、孤立した道大短い活断層であること。
00:07:48	地震規模が同程度であること、敷地から近距離の地震であること、さらには、は形状が類似の傾向にあることを確認した旨追記してございます。
00:07:58	27 ページをお願いいたします。
00:08:03	先ほどの地震諸元を確認した基準地震動 Ss2-1 と積丹の 4 ケースの比較結果を示してございます。
00:08:12	比較結果として 4 ケースの UD 方向の長周期側、こちらの地震動レベルが、SAS ニノイチより小さくなっているということを記載するとともに、
00:08:22	積丹の地震動レベルの確認結果のまとめとしまして、箱書き二つ目に、まとめて記載してございますが、積丹の地震動評価結果で基準地震動に設定していないケースの地震動レベルが、
00:08:35	Ss2-7 から 2-13 及び Ss2 の 1 より小さくなっていることを確認した旨記載してございます。
00:08:44	以降、28、29 ページには、基準地震動の設定結果をまとめてございますが、こちらにつきましては、これまでの検討部分の修正結果を踏まえまして、表中の記載は、箱書きの記載、こちらの方を修文してございます。
00:09:00	変更箇所については以上となります。ご説明については以上となります。
00:09:07	はい規制庁単位で説明ありがとうございました。
00:09:11	前回もこれ大体内容は聞いてて、検討の内容自体は理解してるつもりなんですけれども、
00:09:21	ちょっと今回か変わってきているこの多分 6 ページを
00:09:27	しっかりとですね、まず説明してもらった必要があるかなという中で、これを読んでいくんですけれども、
00:09:36	何かまいちですね、こうもやっとしているようなところがあって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:43	例えばですけれども、前回評価してこの右側に白抜きの四角が二つありますけど、
00:09:51	白抜きの負二つ目、白、白囲みの二つ目で、
00:10:00	何か最初に、Ss1 を上回る部分における地震動レベルを確認することで水平方向及び鉛直方向の同時入力、評価を含めて、
00:10:11	大きい影響を与える地震動を選定することができるかとポンとなんか概念がこうは入ってきてるんですけど、
00:10:19	これは
00:10:21	どう、どういう意味なのかというのと、
00:10:24	そのできるんですっけ。
00:10:29	多分僕の方としては、
00:10:31	この間の説明とかも聞くと水平鉛直ってというのは、
00:10:37	何て言うんすかねそもそもこの選定の中では Ss1 を上回る、
00:10:42	部分。
00:10:43	地震動レベルを Ss1 を
00:10:46	上回ってさらに、一部周期でチャンピオンなるものをまず選んでおけばよくって、そのあとで確認する中で、
00:10:54	そのあとで本当にその選んでるものが妥当なのかっていうのを一応確認しちゃうと、そういう検討用地震ごとにやると。その中で、何か3方向も確認を、
00:11:05	ししていると、というような、何かそういった説明に聞こえてたんですけども。
00:11:15	なんかこう、結構前面に
00:11:19	水平及び鉛直方向の同時入力も含めて選定することができるっていうのがこう決め付けで書かれているのか。
00:11:28	こんな話だったかなっていうのを、
00:11:31	感じて、確認してるんですけど。
00:11:35	これなんか選定することができるっていう、
00:11:38	言ってますけどこの根拠みたいなのは何か説明できるんですか。
00:11:50	はい。北海道電力の高橋でございます。今、田井さんおっしゃられたところは、6 ページの二つ目の箱の一つ目のパラグラフのところの部分というところかと思っています。
00:12:02	Ss1 を上回る部分での地震動レベルを確認することでというところかなと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:12:10	こちらにつきましては、今回評価におきましては、Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなる地震動、こちらの方をまず基準地震動として設定しているという前提がございます。
00:12:24	で、そちら Ss1 を上回る周期で、そのチャンピオンケースですねそちらが設に与える影響が大きいということになるかと思っております。
00:12:35	一方で、Ss1 を下回る周期においては、基準地震動 Ss1 の方の施設影響の方が大きいということを考えますと、水平鉛直の同時入力評価時におきましては基本的に Ss1、もしくは、
00:12:50	先ほど選定したチャンピオンケースとなります。
00:12:55	基準地震動ですねそちらの方の接液の方が大きくなるということで今考えてございます。
00:13:01	従いまして Ss1、もしくは Ss1 を Ss1 と、エスエイチ 1 を上回る周期で最大のスペクトルとなる地震と、チャンピオンケース、こちらの両方を考慮することによって、
00:13:15	水平鉛直の同時入力評価においても説明施設におき影響を与える地震動、こちらの方が選定されているということで今考えているということになってございます。
00:13:25	以上となります。
00:13:30	はい。はい。
00:13:33	規制庁の名倉です。
00:13:37	水平方向及び鉛直方向の同時入力に言及している箇所を、
00:13:42	どこに記載してるかっていうのを拾っていったらですね、ちょっとばらつきがあるんです。
00:13:49	見た感じね。
00:13:51	それはどうしてかって例えば 6 ページのところ、黄色い四角書きのところ、前回会合の中でっていうことで書いてあるところが一つ目の白丸印の 4 行目。
00:14:04	水平方向延長孔口の同時入力評価時にと書いてある。
00:14:07	それに対して、今回評価のところについては、
00:14:12	SsWAN を上回る周期体での地震動のところに、
00:14:17	水平方向及び鉛直方向の同時入力評価を含めてっていう表現を入れた。
00:14:23	後ろの方はどこで出てくるのかと見たときに、
00:14:28	最初に出てくるのが 9 ページ。
00:14:30	ここは前回の辺からの変更点なんだけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:35	まず一つ目の○でこれは前回までのことを言っているから、
00:14:40	6 ページの一つ目の丸のところで一致する、それに対してしかしながらのところは、
00:14:46	これは前回の話前回で策定していたものを、今回指定するので今回のところにも関係するんだけど、
00:14:55	これは6 ページのところでいくと中垣のところに相当する部分。
00:15:00	なんですよ。
00:15:01	だから、
00:15:03	何か、
00:15:04	書いてる箇所が、
00:15:07	二つ目の丸のところは、これはもう選ぶところですよねエスワン、こういったところから、そこにこれが入り込んでいって、でも実際やってるのは、
00:15:18	6 ページの、二つ、二つ目の白丸のなお書きの部分。
00:15:22	のところをゆ
00:15:24	んで言っていて、後ろの25 ページのところにも出てくるんだけどこれは、
00:15:30	6 ページで言うところのなお書きの部分なんですね。
00:15:38	ということで、この水平方向及び鉛直方向の同時入力評価時についていう表現は、
00:15:44	今まではこれを考慮していたんだけども3方向という意味合いで、
00:15:49	今回は
00:15:51	Ss ワンを超える周期体での、
00:15:57	のところで、選定する時に考慮する要素なのか、それともなお書きのところ、
00:16:03	考慮する要素なのか。
00:16:06	そこんところがちょっと表記。
00:16:09	ぶれがあって、
00:16:10	ここんところはちょっと私の解釈ではですね、6 ページのところの二つ目の丸の前半部分は筆が滑ってる。
00:16:22	むしろここではなくて、
00:16:24	なお書きのところに本来あるべきなんだけど、ただ、方針としては書かなくてもいいのかもしれないけど、
00:16:32	25 ページとかそういうところで比較するとき、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:35	SS 湾とか、他の断層モデルはとの関係で、
00:16:40	やっぱりない波と一対一の比較をしているのはこのなお書きのところなので、
00:16:47	なお書きのところの、
00:16:49	要素としては、後ろの方で書いても別に構わないのかなと。ただ、表立って前向きに書く話ではないのかもしれないなど。そういう意味で、
00:17:00	6 ページのところがすべてなんですよ。言ってしまえば、
00:17:05	この基本的な考え方で何を言うべきなのか。
00:17:09	これまで、もういろいろ言ってきたからその連続性でこれを考慮したのかもしれないけれども、ただ、それを書くにしてもどこに書くのかというところが実際やってるところと一致させた方が、
00:17:21	いいんじゃないか。
00:17:22	人というのがすいません、私踏み込んだ意見としてはそれが言いたい。
00:17:27	要は 6 ページのところをもう少し、
00:17:30	しっかり後との関係も踏まえて、どこに何を考えとして記載するのかっていうのはよく考えた方がいいだろうと。
00:17:39	いうふうに思いました。
00:17:40	これ全く駄目だと言ってるわけじゃないんだけど、
00:17:43	よりきっちりとかう理解して例えば私たちが審査書とか書くときに、どういうことを事業者の方針として理解して書くか。
00:17:52	といったところのキーワードとして、見たときに、少しまだ私たちの文章としてはこれそのまま受け入れられませんよと審査書比較的、
00:18:02	とというふうにちょっと受け取りました。
00:18:04	以上です。
00:18:18	私も言ってることは、
00:18:39	はい、北海道電力野尻ですありがとうございます今言われるとおっしゃる通り、6 ページというか我々の今回の前回の作業と今回の作業でちょっと、
00:18:49	書いてるところがずれてるところもあるかなっていうのと、6 ページの方で前回の時 23 万 3 方向なり水平鉛直同時入力を見ると言っていたのが今回、
00:19:01	この評価の中でどこに行ってるんだっていう話も前回のヒアリング中であつたというのもあってちょっとあのようになんか変えてみるということで今回、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:10	変えてみたんですがそこが一部ちょっと切れてるところもあるということと、実態として今回の作業の中のお書きで書いていてやっているところですね特に 20、
00:19:24	5 ページで積丹の地震、
00:19:28	を整理する中で今、その水平と鉛直様ある意味 3 方向を見ているっていうのが、Ss1 との関係を見、
00:19:37	見たときにその議論をしているということで、今フローの
00:19:41	んなお書きで書いてるところっていうのがどちらかというと、Ss1 との関係というよりは、
00:19:47	断層モデルは同士の比較での書きぶりになっていて、ちょっとそこら辺が我々、実際作業してる場所と方針の部分それからそれをもう書いてるところっていうのがちょっと合っていないところあるんでちょっと、
00:20:01	今一度整理はしますが逆に 6 ページの方で、
00:20:05	前回選んだ。
00:20:07	選び方の中に水平鉛直とかっていうのを描きに行っちゃってるんですがそこを逆にあまり、
00:20:14	前回やってたところぎらつかせないでちょっと水平鉛直というのは結果を見てるんですけどちょっと方針上あまり、
00:20:20	ように書かないようにちょっと整理はさせていただく方がいいかなと今思ってますんでちょっとその方向で整理してみたいと思います。
00:20:30	名倉です。
00:20:34	そこをちょっとお任せしますが私は前回会合までのところ、
00:20:39	ていうのはそんなに気にしていなくて、今、今回評価、
00:20:44	のところだけを気にしてます。
00:20:47	25 ページで書いてることは重々承知しか理解してます Ss ワンとの比較とか、それから他の整数断層モデルは、として採用している性質、
00:20:59	もう大小関係との関係で 3 方向において、
00:21:03	比較しているというところ、これは 25、5 ページのところはちゃんとそれをやっていて、
00:21:09	そのところで水平方向及び鉛直方向の同時入力評価も意識した上で施設の影響を検討している、評価している。これについては、
00:21:19	まさにその通りやってるんだろうと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:22	いうことはわかるので、それと、私が気になったのは6ページで言うこと、ここにずれがあって、ここだけがちょっと私は引っかかってた。
00:21:33	うん。別に変えちゃいけないと言ってるわけではないんだけど、25ページのところは、確かに事実としてそういうふうにも書いてもおかしくはなくて、やってることをそのまま表してる。
00:21:46	それをあえて6ページのところに表現しなくても、
00:21:50	いいんじゃないかなあという気はちょっとしてますね。
00:21:54	そういう意味ですいません前回会合までのところについては私はあんまり意識してない。
00:22:00	それを何か言う人間がこちらにいるかもしれないけど私は、そこは意識してなくて今までそういう、確かにそういうふうに来てきたんだから、
00:22:11	そういうふうな考え方に多分基づいてやってきた。ただそれが方法としてよりベターなフィッティングさせたかどうかって話はあるんだけど、
00:22:21	考えとしては事業者としては、
00:22:23	それは今回、正確にそこは表現をして、
00:22:29	きたというふうに、来ていれば私はそれでいいのかなと思ってます。以上です。
00:22:35	すいません谷さんちょっと言い過ぎちゃったから。
00:22:39	はい。
00:22:40	北海道での自立ありがとうございます 25でS1と3方向見てるで一方で27ページですね今度、
00:22:47	他の断層モデルとして今回尻別川。
00:22:52	とSs2-1との比較をしているところっていうのが意味UD方向。
00:22:58	を見に行ってる。
00:22:59	NSEWをこうこうでも見に行っていないというところがあったので、
00:23:05	ちょっと我々の方の、それを方針側でどう、網羅的にというか、カバーして書くかっていうところにちょっと迷ったところがありますので、
00:23:15	今、名倉さんおっしゃられたところですね実際やってるところと、それをどこまで方針に書くのかっていうのをもう1回整理して、
00:23:23	今までやってたものを、はやってたものとしつつ今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:27	この水平鉛直同時によることを整理したのかっていうところを、書かせていただきたいと思います。はい、ありがとうございます。
00:23:42	入ってないです。続けてこれは、
00:23:45	ちょっと何か評価が、選定方法が変わってるっていう背景というか
00:23:52	心はっていうところを確認したいんですけども、今なんかあんまりこうフラットに結構書かれてるんですけども、
00:24:01	これって、前回会合で主張されてたこと、3方向も見た方がいいよっていう話。
00:24:08	で、
00:24:09	選定していたもんものを今回選ばなくていいよっていうような整理になってるんですけども、その心っていうのは、何ていうんすかね。北海道電力の中では、
00:24:21	やんなきゃいけないことをやらなくなったっていうような認識、要するにちょっとこう思ってたハードルを下げたっていうような話。
00:24:33	なのか、それともきちんと分析とかをする中で、やっぱりこれは、選定しなくていいっていうより深掘りをした検討の結果、
00:24:43	えられたものなのかっていう、その辺の、何ていうんすかね会合で言われたからちょっと今までこう思ってたんだけど変えたんだっていう話なのか、その二つのうち、どちらなのかっていうのを、ちょっとこの場で確認させて欲しくて、
00:24:59	まず、どっちなんですかね。
00:25:06	はい。北海道電力の釣です。
00:25:09	前回会合での議論を踏まえて、どちらかという今、後者だと思って後者だと思ってますっていう、後者ですっていうことになります。
00:25:19	我々として前回入れていたところそれは3方向を見に行くというのをちょっと幅広く、多少アバウトにというんですかね、Ss1を下回ってるところも入れに行っていたところではあるんですけど介護の議論を踏まえて今一度Ss1との関係もしくは他の基準地震動との関係をしっかり見る。
00:25:36	という整理の中で、3、
00:25:38	方向として見ても、水平鉛直同時入力として選ぶ必要がないということそれと、チャンピオンを選ぶ、どこかの方向のチャンピオンを選ぶことで、ある意味水平鉛直、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:50	でてき得るものまで網羅できるというような整理ができたということで、今回そのプロセスを抜いても大丈夫だというふうに整理したつもりでございます。
00:26:01	井谷です。考確認できて私どもは納得したんですけど、ただ、今ね資料見てると、何か私それ用に買っ書くべきだとは言いつもりないんですけども、
00:26:13	なんか結構フラットに書かれてて、その辺の背景があんまり、
00:26:17	あんまりね見てて、
00:26:20	わかかわりにくいなっていうのはちょっと感じた、これただのコメントです。
00:26:32	はい。北海道電力野尻です。ありがとうございますそこら辺、ちょっといま1度資料の方もし反映できるところあれば、整理したいと思います。ありがとうございます。
00:26:43	井谷です。あとはね、26 ページで、
00:26:54	これ一合合で説明してた部分が、前回のヒアリング資料では、
00:27:00	抜けてて、それが今回 CEO 化されているのかなっていうふうな、
00:27:06	そういう、そういう
00:27:10	ことで、読んでるんですけども、
00:27:14	何か
00:27:15	今これ抜粋じゃないですか。で、この
00:27:18	時刻歴八景が同様の傾向にあるとか言って書かれてますけど、この辺何かこう、
00:27:26	これ今抜粋だから見れないんですけども、何か本編になるとこの辺は、
00:27:33	ちゃんと確認できるような資料になるんですか。
00:27:39	はい。北海道電力の刷りでもともとは形の確認はしていたところではありますし今回、
00:27:47	これを、まず概要の番のところなんでどちらかという地震規模なり距離感という方を重視してそちらを概要に入れてますんで本編の方にはこれの後ろには形。
00:27:57	ですね、を比較して同じような形だというのをつける予定でございます。以上です。
00:28:07	はい起こりました。
00:28:12	ちゃんと後で確認しますけど同様なんです、同様。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:16	同様っていうのは、お利口ん。
00:28:20	これ全体的な話として同様って言ってるのか。
00:28:25	27 ページで選んでいるようなものを比較して、
00:28:30	同様って言ってるのか。
00:28:32	これはちょっと今確認させてください。
00:28:36	はい。北海道電力野尻です。多分お示しするのは今回選んだケース尻別川断層である傾斜角の破壊開始点 4 番だとした方の方は、
00:28:47	傾斜角の破壊開始点の 2 から 4 とかっていうことになると。
00:28:52	整理しますので、今回ピックアップしたものの比較をしていくと思います。その振幅は形の形状が、
00:29:01	似ていると、いうことを整理することです。ただ実際はですね積丹半島であれば迫田の中で、ほぼ共通それから尻別は尻別でほぼ共通ということなんで、
00:29:12	いずれにしても全体を比較しても同じようなことにはなると思ってますけど、今回は、取り出したものの比較で整理するというで考えてます。
00:29:19	わかりました。だから今資料にはこのこの資料にはついてないけれども、もうそれは確認済みっていうことで理解しましたけどいいですね。
00:29:28	連絡野尻ですその通りで、そのような資料を整理してお示しします。
00:29:34	井谷です。あとはですねえ、ちょっと会合で、答えてた中の一つ。これ、この間のヒアリングでも聞いたんですけども、
00:29:44	何か
00:29:45	会合では少しわかりにくい、確認の仕方をして何か特殊な設計があるのかなのかとか、そういった言葉で、確認してたと思うんですけども、
00:29:58	今なあ。それをね特殊な設計ってなんですかっていうのはなかなか書けない、書かんなかなかそれを
00:30:06	書くような資料ではないと思うんですけども、ただ例えば免震構造は計画していないだとか、
00:30:14	そういったことは、
00:30:18	はっきりしてることは、どこまで書けるのかって言うのあれですけど、
00:30:22	それはどっかにですね。
00:30:24	書いてもらっていいんじゃないのかと、今もう免震ガイドとかも出ているようなタイミングなので、そういったことをこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:31	しなくていいと思ってるっていうのは、
00:30:35	どこかに報、
00:30:37	書いてもらったほうがいいのかなね特殊な設計っていうのは、
00:30:40	ちょっとそその長周期の話、今の議論をもとにすれば、そういった長周期の話に当たるのかなというふうに私は思っ
00:30:51	ているので、
00:30:53	何かそれはどっかに記載してもらっていいかなと思いますけど、事実関係としては、
00:31:00	当然ないですよね介護で答えてるよ。
00:31:03	はい。北海道電力の釣です。おっしゃる通り今のところ、免震の建屋なり、明治構造の建物を作るという計画はございませんと。
00:31:13	資料の方は今回、特にその特殊な設計特別な設計っていうあたりの記載はあの会合ではしましたけどこの資料上は記載しておりませんが今お話あったような、例えば、現時点で免震の計画はないとかっていうことを入れるとすれば多分 28 ページ。
00:31:28	ですかね最終的に、
00:31:30	選んだ基準地震動がこれで基準進捗設定されているっていうところの間、例えば最後になお書きとかでそういうものの計画はないというようなものを、
00:31:39	長落させていただくというようなことで、
00:31:43	整理はしたいと思います。以上です。
00:31:57	規制庁名倉です。
00:32:00	おそらく、
00:32:02	レンシんの。
00:32:04	阿部。解釈別記 2 の免震の規定とあと免震ガイド、
00:32:10	を策定してから、
00:32:14	設置変更許可初めての案件なのかな。
00:32:25	閉めるのが、島根があるんだな。はい。あ、すいませんちょっと勘違いしたかもしれない。
00:32:32	一応
00:32:33	ですから免震、
00:32:35	設計用の基準地震動というものを策定する必要がないということ。
00:32:41	についてはそれはちょっと、今回説明を加えてもらった方がいいのかなっていうのはありますんでそこはちょっと、お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:50	はい。北海道電力野末です。はい。名水の計画はないってところ、もしかするとプラスアルファ今名倉さんおっしゃられたようなそれ用の地震動を作ることがないというようなところまでを町記載するようにちょっと整理したいと思います。
00:33:34	規制庁谷です。
00:33:36	だから、多分
00:33:39	大きく、
00:33:41	大きくというか、
00:33:43	ちょこちょここと、じゃあそ、追加しますとかいうお言葉ありましたけど、
00:33:48	大きなところは、
00:33:50	大きなといってもその言葉の変更ですけど、6ページ。
00:33:54	2、何を書いて、これが今回の会合で、
00:33:59	ほとんどここが、ここが北海道電力の考えを表す場所ってというようなところで、これが
00:34:09	多分ヒアリングとかは、必要ないのかもしれませんが、この辺の資料をですね1回できたら、
00:34:19	提出いただけたらなと早いタイミングでですね、そう思ってます。
00:34:26	今それをもって基本的には会合に進むってというようなことで考えますので、
00:34:31	どうですかねこれいつぐらいに。
00:34:35	資料修正。
00:34:37	できそうですか。
00:34:40	北海道電力野末です
00:34:43	長三森菅というほどでもなく日本語なんで今のところもともと予定としては今週中に全体を整理してお出しできるかなと思ってましたので、その中で対応とは思っていますが、いかがでしょうか。
00:34:58	入ったらいいです。私これ、多分、
00:35:01	今、
00:35:04	受け取るんですけどもまず電子をね、
00:35:08	出していただけたらいいかと思ってますんでヒアリング必要だったらまた紙を
00:35:12	提出していただくということでお願いします。それは早いタイミングでお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:35:18	はい、わかりました OK 刀禰野尻です。まずは今週中と思ってますができるだけ早くできたところで、一度電子データを確認していただくようにしたいと思います以上です。
00:35:29	はい、お願いします。北海道電力から特にないですか。
00:35:36	全部です特にございません。
00:35:39	はい。それではまず基準地震動の方。
00:35:43	終わりにして続いて津波の方に移りたいと思いますけど、うちもちょっとメンバー入れ替わりますので、1回
00:35:53	中断というか、休憩を入れす。
00:35:58	6を1回止めます。
00:36:04	規制庁谷です。参加者そろったので、ヒアリングを再開します。
00:36:10	続いてですね基準津波に関するコメント回答ということで資料が2点ですね、この資料。
00:36:19	簡潔にですね、
00:36:23	北海道電力の方から説明をお願いしますもう大分時間もね、残りがどんどん少なくなってますのでお願いします。
00:36:31	はい。北海道電力松村です引き続き津波の方の説明をいたします。説明は沖から20分程度時間、お願いいたします。
00:36:44	移動電力の青木です。資料、本編資料の方用いて説明させていただきます。
00:36:50	まず早速ページめくっていただいて、2ページ目に目次、3ページ目に今回の説明範囲について記載してございます。
00:36:59	後3ページ目よろしくお願いします。
00:37:02	と今回の説明範囲については、クリティカルパスが心地の組み合わせ評価であることを考慮しまして先行して説明させていただきます。
00:37:10	とまた指摘事項のうち、No.33の泊発電所波源の特徴を踏まえた敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定について説明させていただきます。
00:37:22	また図中の左上に青破線で書いておりますが、令和5年4月27日の審査会合引き波時の評価に関わる指摘事項回答。
00:37:32	その結果を踏まえまして水位下降側については保守性を考慮した時間に関する評価結果についてご説明させていただきます。
00:37:39	とその関係で、3ポツの地震津波に関わるところにさかのぼって説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:46	当間田子基地の組み合わせ評価につきましては、5.1 章から 5.4 章に関しては、
00:37:53	水加古側の評価っていうところで、
00:37:57	保守性を考慮した時間に関する評価を踏まえた更新結果について説明することを考えております。
00:38:03	また、5.5 ポーチ以降の、
00:38:06	水位上昇側の評価につきましては、今回改めて説明するものとなります。
00:38:12	なお、黄色ハッチングをかけている箇所につきましては現在整理中の内容でして、次回のヒアリングまでに結果をそろえてご説明することを考えております。
00:38:22	5 ページをよろしく申し上げます。
00:38:28	こちら指摘事項は 33 番に関する回答方針を記載したものになっております。
00:38:34	投資的事項の一番上段から説明させていただきます。
00:38:38	下線部のところが重要なところと考えておまして、現在の組み合わせ候補としている波源で組み合わせ後の推移に影響の大きい波源が選定できているのかについて分析結果を踏まえて、
00:38:49	根拠を明確にした上で説明することに関する回答方針につきましては右側で書いておまして、令和 5 年の 3 月 24 日の審査会合の組み合わせ高とした波源。
00:39:00	具体的には地震に伴う津波の最大ケースを用いた分析では、組み合わせ評価の最大ケースを選定できているかに明確に示していないと考えております。
00:39:11	二つ目の丸で、地震に伴う津波として想定される波源。
00:39:15	本庄檀の最大ケース以外を対象に分析追加解析を実施することで、根拠を明確にした上で、組み合わせ評価の最大ケースを示す方針とすることを考えております。
00:39:26	また注釈書いておりますが、既往の検討ケースだけでは、一部の断層パラメータの変動による影響が確認できないため、根拠を明確にした上で説明するにあたって追加解析が必要になるものと考えております。
00:39:40	また左側の指摘事項に移りまして、検討の具体例というところで、清城所側の二つの矢羽根がございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:48	一つ目の矢羽根は、組み合わせ時間範囲において第一波または第2版のピークが生じる派遣を特定して示すこと。
00:39:56	その上で、組み合わせ後の津波水位が高くなる波源の組み合わせについては、波源のパラメータを変更した場合の派遣に与える影響を考慮して検討すること。
00:40:06	これに対する回答としましては一つ目の矢羽根に対しては、概略パラメータスタディの位相の観点、
00:40:12	の箇所です。陸上地すべり川下の第一波の組み合わせ時間範囲において、地震津波の第一波または第2版のピークが生じる波源を示した上で、組合評価において水位が大きくなる可能性のある波源を選定いたします。
00:40:26	二つ目の矢羽根に対応するものとして詳細パラメータスタディの観点と組み合わせ評価というところで、
00:40:33	選定した波源を対象に断層パラメータの変動を考慮して組み合わせ評価の最大ケースを選定すると。
00:40:39	いうところを方針として考えております。
00:40:42	左側の残りの指摘事項については、次回のヒアリングの際に説明させていただきます。
00:40:50	続いて6ページ、こちら追加しました5.5章のは、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の方針、水位上昇側の概要となります。
00:41:01	と大きく説明する事項として3点ありまして、追加解析をする実施理由と、
00:41:07	どのパラメータに着目して移送の検討を実施するかとまた概略パラメータスタディの結果という3点について順番に説明していきます。
00:41:16	トーマツ7ページをお願いいたします。
00:41:20	こちら前回会合のおさらいを兼ねての検討方針となります。
00:41:25	では浅部令和5年3月24日の審査会合における説明概要というところでは、地震津波の最大ケースを用いた組み合わせ評価波源選定の妥当性を示すことを目的としておりましたので、
00:41:38	地震津波の最大ケースを対象とした分析追加解析結果を実施いたしました。
00:41:44	その際、川白の第一波のピークと地震津波の一般にはのピークが重なって水位が大きくなる可能性があるというところで、具体的には波源位置の位相の変動を考慮した追加解析を実施しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:56	その結果、一つ目の矢羽根ですと、
00:41:59	一派川白の一派と地震津波の一般の組み合わせ評価ではピークが重なって水位が大きくなったという結果がえられました。
00:42:07	一方二つ目の矢羽根では、川白の一般と地震津波の2羽の組み合わせ評価というところでピークは重ならない結果がえられたというところになります。
00:42:17	また、この対象としたケースについては地震津波の最大ケースというところで、断層パターン6のケースを用いて追加解析をしたものとなっております。
00:42:27	この
00:42:29	前段の審査会合の説明以外を踏まえました目的というところで、大きい目的というところは変更はございませんと泊発電所の波源の特徴を踏まえた上で、
00:42:39	組み合わせ評価の最大ケースを選定するというところが大きい目的となっております。
00:42:45	それに向けた検討方針というところで、前回の会合で説明した地震津波の最大ケースを用いた分析では、明確な最大ケースが選定できているかというところについて明確に示していないと考えております。
00:42:58	これを踏まえて対象とする波源を地震津波の最大ケース以外にしたというところが、今回の大きな方針というところで、検討対象波源を変えたというところが大きい方針となります。
00:43:12	続いて8ページで、その変更対象を変えたというところで、地震津波の
00:43:18	検討ケースを整理したものが8ページ9ページになっております。
00:43:23	8ページですが、検討対象とする地震に伴う津波として想定される波源について、既往の審査でご説明しました地震津波の検討において解析を実施済みであるケースを整理いたしました。
00:43:36	またその地震津波の検討の際には左側に示しておりますパラメータスタディフローに基づいてステップ1の1からステップ4にかけて、順番に大きくなる波源、水位が大きくなる波源性変動量が小さくなる波源というものを選んでいったものになります。
00:43:52	その中で、実際に選ばれた波源というものを、右側の表でまとめたものとなっております。
00:43:59	と断層パターン5から8というものが大きいケースとしてはございまして、そのうち水位上昇側としては断層パターン6の波源が選定されて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ステップ1の1以降というところで、いろいろな断層パラメータの変動を考慮しているものになります。
00:44:15	水位下降側の最大ケースとしては断層パターン7が選定されまして、こちら断層パターン6と同様にいろいろな断層パラメータの変動を考慮したというところになります。
00:44:25	一方断層パターン5と8については、パラメータスタディの最初の段階で選ばれないというところもありまして、他のStep1-1-1以降の断層パラメータの変動について考慮できていないと。
00:44:39	いうところになります。
00:44:42	藤辻9ページをお願いいたします。
00:44:45	断層パターンが違うことにどのような影響があるかというところをまとめた資料になっております。
00:44:52	左側失礼しました右側の、
00:44:55	表で断層パターン5から8のそれぞれの初期水位分布を書いております。
00:45:01	この初期水位分布が伝播することで泊発電所に津波が到達して、水位時刻歴は形として、
00:45:08	その家水位の上昇が加古川になっていくというところになります。
00:45:13	その中で、断層パターン6と7以外の口頭8を見ていきますと、6と7と比べてそれぞれ、
00:45:22	とは形の傾向が違うというところもありましてこういった政治国益は下が違うというところに流出せ、
00:45:29	組み合わせ評価の影響を把握するためには長さパターン六、七以外の事8についても分析する必要があるというところで、追加の検討を実施していくという流れにしております。
00:45:40	またここで断層パターン1から4の扱いについては、断層パターン5から8をそれぞれ西にずらした。
00:45:47	波源というところで、使い年は東西の移動位置が違うだけで波源としては同じ状況ですので後段の検討で、
00:45:55	断層パターン5から8をベースに検討したもので代表させるというところを考えております。
00:46:02	ここまでは、事例の整理となりまして10ページ以降というところで、藤澤川世良の一派等地震津波の2羽の組み合わせ評価の概要を整理、整理しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:13	今回の説明概要の中では、5.6章の評価、川白の1%と2羽の評価を説明することで、頭の1%、津波の1%、
00:46:24	地震津波の一般の
00:46:26	内容も同様な考えで整理しておりますので、まずは5.6社の内容で説明させていただきます。
00:46:33	11ページをお願いいたします。
00:46:36	ここでは断層パラメータが違うことでどのような影響があるかというところで、位相のみに影響のある断層パラメータを整理しております。
00:46:45	まず基本的な情報としましては現位置と泊発電所の距離に応じて津波が泊発電所へ到達する時刻、埋葬に影響を与えることが判明しております。
00:46:56	ここでは現位置とは、断層パターンと東西方向の位置及び矩形モデルト ーク野地モデルの断層パラメータにより決定されるものと考えております。そちらを下表の赤枠で示しております。
00:47:09	これらの表につきましては左から、
00:47:12	4分割しております、それぞれの断層パラメータについての変動させた場合は形の影響を整理したのになっております。
00:47:21	ここで一番左側の断層パターンの東西方向位置の変動を見ていきますと、東西方向位置が違うことで、清時刻歴は系の位相が大きく変動していることがわかるかと思えます。
00:47:33	また同様に矩形くの字モデルについても、東西方向位置と比べると、変動量は小さいんですけども、位相が変動していることが確認できております。
00:47:43	以上のことから、左の二つを、
00:47:46	移送に影響を与える断層パラメーターというところで、概略パラメータスタディで検討をすることを考えております。
00:47:54	残りのアスペリティ位置につきましては、ピークの発生時刻が変化するっていうところが実際出てきますが、
00:48:00	ピーク発生時刻が遅くなるに伴って水位が同時に低下するという特徴もございます。こういったところを考えますと、東西方向1の断層パターンと東西方向位置の、
00:48:12	変動の方が、一層に直接影響を与えるというところで、位相に影響を与えるパラメータは、東西方向位置で検討することで代表させております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:22	また断層面上縁深さについては波源位置が直接変わらないので磯への影響が小さいというふうにとまとめております。
00:48:31	こういったところで12ページの検討フローというところ、検討方法というところで整理をしております。
00:48:39	藤川白井一般の組み合わせ時間範囲に地震津波の2羽のピークが入る可能性を検討するために、ユニハのピークの位相が速くなる断層パラメータの変動を考慮する必要があります。
00:48:51	各断層パターンについて一層早めるために、日本海透明の範囲を踏まえて、最も東へ移動させた追加解析を実施して、川白一般の組み合わせ時間範囲に地震津波の日本のピークが入る波源を、
00:49:03	特定するというところを、概略パラメータスタディでまずは実施しております。
00:49:09	その中で概略パラメータスタディとしては、断層パターン東西方向位置の違いというところで、4ケース想定されるんですけども、段差パターン6については、
00:49:18	前回の審査会合で重ならないことを確認してるので対象外としております。印象残りの東西ラーソンパターンの3種類と、黒字モデルの2種類の違いを踏まえた、
00:49:30	衛藤。
00:49:31	3掛け2の6ケースを概略プランの検討対象としております。
00:49:36	その概略パラは実施した後に、詳細パラメータスタディで残りのパラメータの影響を検討して組み合わせ評価を実施するという流れにしております。
00:49:47	続いて14ページに概略パラメータスタディの結果を記載してございます。
00:49:56	先ほど説明した6ケースを検討した結果、14ページに記載して二つのケース、
00:50:02	についても、組み合わせ時間範囲に入る波源として特定したという結果を載せております。
00:50:09	ここで断層パターンの違いによって、第2版のピークは頭の組み合わせ時間範囲に入るかどうかという結果の違いがあらわれておりますのでその理由について考察するというところでその結果を15ページに記載しております。
00:50:24	一番左側に断層パターンを一番東に寄せたケースというものを書いておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:31	この波源位置については、
00:50:33	東さんが、
00:50:34	すべての断層パターンによって同一のものが選ばれて、同一の条件になっております。
00:50:40	ですが一方初期水位分布を見ていきますと、次の高い箇所というのが発電所との距離が断層パターンごとに違うというところがあってこれの要因によって、
00:50:50	重なるか重ならないかっていう結果の違いが発生しております。
00:50:55	具体的には、5と7が重なる結果がえられておまして、残りの断層パターン6については、水位の高い値が発電所から遠いというところもありまして、
00:51:06	重ならなかったという結果になっております。
00:51:09	一番下断層パターン8については水の高い箇所は他の断層パターンと概ね同様なんですけれども、
00:51:16	その高まりの東側に水位の低下する初期水位分布になっておまして、
00:51:22	一般的な理論というところで、
00:51:25	水深が浅いほど水深が低いほどは足が遅くなるというところもありまして、重ならないという結果になったと考えております。
00:51:37	続いて16ページをお願いします。
00:51:42	次回のヒアリングの際には詳細パラメータスタディと組み合わせ評価について、こちらのページを穴埋めした形でご説明させていただきます。
00:51:51	ここまでが上昇側の説明となりまして、
00:51:55	続いて18ページから、水位下降側の説明となります。
00:52:01	一時的な水位上昇による正回復を見込まない貯留堰を下回る時間の評価要領の比較の観点から、保守的な評価となるように、泊発電所の波源の特徴を踏まえて保守性を考慮した時間を定義しております。
00:52:16	では下の特徴としましては、地震に伴う津波の上昇側の第2はと第4は、については、地形モデルや波源断層パラメータの違いによる畦、
00:52:26	貯留堰の天端高さと比較して十分に水位が大きくなるので必ず朝礼できない夏井が回復いたします。
00:52:33	その水位下降側に対して影響の大きい8件については、この地震津波の2羽と4羽の間の引き波時に発生するというところがありまして、この間になる時間、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:44	ていうところを、
00:52:45	一時的な性状小含むは形として保守性を考慮した時間というふうに定義しております。
00:52:52	続いて 19 ページをお願いいたします。
00:52:56	ここでは地震津波の評価というところで、
00:53:00	保守性を考慮した時間に着目したパラメータスタディ結果を整理しております。
00:53:04	その前段っていうところで、水位下降側の最大径しと保守性功労者時間の最大ケースは完全に一致しないというところ。
00:53:13	また、水位下降側の各評価の最大ケースの水位時刻歴、水位時刻歴は形が大きく異なるということをかながみまして保守性を高齢者時間に着目したパラメータスタディを実施いたしました。
00:53:24	この補正コールサージ管に着目したパラメータ結果を踏まえた地震津波の最大ケースについては、19 ページの表にまとめた通りになっております。
00:53:34	保守性を考慮した時間に着目したパラメータスタディを実施したことによって、この表のうち一番下段の保守性を考慮した時間の最大ケースが更新されております。
00:53:45	このうち、②防波堤の損傷を考慮した地形モデル②については、これまでと同じ波源が選定されたというところになります。
00:53:53	また一番右側の③の地形につきましては、貯留堰を下回る継続時間、パルスを考慮しない時間についても、保守性功労者時間に着目したパラメータ結果により波源が更新されると。
00:54:07	結果になっておりまして、その結果を踏まえて、最大ケースを更新してございます。
00:54:12	その結果ケース ABCD の四つの波源が、
00:54:17	地震津波の最大ケースとして追加になったというところを踏まえて、
00:54:21	あと 20 ページですね。
00:54:25	その追加となったケースを加えた組み合わせでしょうかというところで、これまでと同様に 5.1 の組み合わせ対象波源から 5.4 章の、
00:54:34	同一波動場の津波解析結果の最大ケース。
00:54:37	を更新した形で整理しまして組み合わせ評価における保守性高齢者時間の最大ケースを選定いたします。
00:54:44	また、組み合わせ評価の妥当性というところで、5 点、下の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:49	フロー書いてるところの検討内容を実施することを考えております。
00:54:54	と実施するメニューとしましてはまず波源の入れ替わりが発生するかどうかの確認。
00:54:59	また一層の変動の考慮の必要性の検討というところで、
00:55:04	地震津波の特徴で確認した、第2は第4はが大きくなるってところを、組み合わせ評価でも同様に出てるというところを確認いたします。
00:55:13	また一番右側の保守性を考慮した時間が計上する可能性について確認します。
00:55:19	これらの結果を踏まえた上で、組み合わせ評価の最大ケースの妥当性というところを説明することを考えております。
00:55:26	この結果については今整理中という位置付けとなります。
00:55:31	当説明の概要というところで、詳細は、これ以降のページで記載しておりまして、他の説明では以上とさせていただきます。
00:55:52	規制庁谷です。
00:55:55	今資料が全体がこんな感じで作ってますよっていう概略では、説明を終わったっていいことですかね。
00:56:04	で、
00:56:05	確かにこれ高い時間説明を聞いてもですね、多分、
00:56:10	このやりとりしていった、確認した方が、今、ちょこちょこ足りてないようなところが多い資料なので、そっちの方がいいかと思って短めに説明をお願いしたんで、
00:56:22	はい。
00:56:23	それで、
00:56:27	ちょっと私の方から確認なんですけれども、
00:56:30	なんかね、今回資料でどこまで答えてるんですかっていうのを確認したいんですけども、今もちろん黄色のハッチで現在整理中ってのが、
00:56:42	ちょこちょこある。
00:56:44	ていうのは理解していますんで、
00:56:49	ただ、この
00:56:51	黄色のハッチが埋まったら、それ会合資料として全部そろっていうことで、
00:56:58	そう考えてるんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:04	北海道電力の青木です。次回のヒアリングの際には、こちらの黄色のハッチングを穴埋めした形でヒアリングさせていただきたいと考えております。その資料を用いて会合、
00:57:16	に進めることを考えております。以上です。規制庁の名倉です。この構成で穴埋めしていきます。6月中旬にって言われても、
00:57:26	多分わからない中身が、
00:57:28	すみません、厳しいことを言いますけど、
00:57:34	第1、第2版の検討をこれ、
00:57:37	第一歩の検討は第2案の検討とほぼ同様みたいなこと書いてあるんだけどやっぱり第一波の方もちゃんと書き下して、
00:57:45	まず方法論として見開きで、2ページぐらいで、
00:57:48	こういうことが、概要として、
00:57:51	方法としてやってますということを、
00:57:54	見開きで、概要で説明するのを第1は第2はそれぞれで、
00:57:59	書いて、結果としても見開きで、
00:58:02	最終的に、
00:58:04	何を説明しないといけないのかっていうと、
00:58:07	陸上地すべり川白の第一歩のピーク。
00:58:13	PEEK から組み合わせ時間差をずらした範囲。
00:58:16	この範囲内で、
00:58:19	第一波もしくは第2PEEKとして入ってくるものが何か、
00:58:23	というところを特定し、すると。
00:58:26	その結果が何なのか。
00:58:29	第一波が話題に芳賀それぞれ結果、何が注意されたのか注意されなかった。
00:58:35	それに対して、
00:58:39	水位がさらに大きくなる、パラメータスタディを実施して、
00:58:44	どういうふうに波源とパラメーターを、影響が大きいものとして特定したのか。
00:58:49	何を、結果として、
00:58:51	それが最終的に、
00:58:53	今まで評価した結果、
00:58:55	に対して影響をおよぼしたのか及ぼさないのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:58:59	というところを、今私が言ったんですと 12345678 枚とか、10 万以内で多分まとまるはずですね。それをまず最初にやって欲しい。
00:59:11	それがほとんど説明はすべてになると思います。
00:59:14	それに対して、
00:59:15	この構成か否かをよく検討していただいて、中身を埋めてもらって、
00:59:21	エビデンスをそろえてもらう。
00:59:24	ということをしてもらいたいののでまずは、
00:59:28	方法論
00:59:30	それから結果、
00:59:31	最終的な影響受けんがあったのかなかったのか。
00:59:36	というところを、
00:59:38	簡潔に 10 枚ぐらいでまとめてもらって、
00:59:41	それを説明するのを優先してください。
00:59:45	そうすると後はもうエビデンスの整理の仕方だけになるんです。
00:59:48	方法と結果をちゃんと説明できたら、
00:59:51	方法と結果について早めに網掛けするのが、私たち多分一番一番は、
00:59:58	やんなきゃいけない。
00:59:59	そこんところが、全体として強力できるかできないかが、
01:00:05	結局、会合での
01:00:07	議論の、
01:00:08	論点だと。
01:00:10	ということです。
01:00:12	だからこないだそっか、12 日になります言って、そのことに対して私は別に、
01:00:18	気にしてはいなくて、
01:00:21	実質的な方法と結果の
01:00:24	整理をどういうふうに、どの時期に私たちに提示してもらえるのか、それが、
01:00:29	Critical です。
01:00:31	それをちょっとやっていただきたい。
01:00:33	谷さんは、私言ってることで、まずこれが一番重要だっということをもまず優先的にやってもらうということでは、やっぱり、今でも言ってますけど、方法と結果をちゃんと、
01:00:44	満遍なくちゃんと説明する第 1、第 2 県と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:00:48	それを説明してもらうことが、まだ重要ですのでそれをちょっとお願いします。
01:00:54	すいません最初に私の方からやってもらいたいことを言いました。
01:01:01	北海道電力奥寺です。
01:01:04	等ばかり安く整理するということは、
01:01:09	私も常々頭を悩ましているところで今そういう、頭の整理を、
01:01:15	行っているところです。で、先ほど青木が説明しましたがけれども10次の週に穴埋めされるっていうところはもちろんのところを今、調整官おっしゃってるような
01:01:29	どういうことを、どういうやり方でやったのか、結果がどうなのか、それで影響あるのかどうかと。
01:01:38	いようなところをまさに今、そういうのがわかりやすく、等々材も含めて一目瞭然というような形が一番、
01:01:46	わかりいいのかなというところも
01:01:50	私の勝手なイメージの中で、整理途上のところなのでそれもセットで今、
01:01:56	今日、15ページぐらい説明させていただきましたけどそこが置き換わるのかなってのはまさに、
01:02:02	それは私の思いでもあるのでそこからそういったところを重要視しながら整理していくことを考えてます以上です。
01:02:10	規制庁の名倉です。
01:02:12	簡潔に言って私自身が、
01:02:14	さっきページ数を言っていましたけど、もうこのこの内容を見ながらですね自分だったらこうまとめるってイメージを少し作りかけていて、そのときに思ったのは3ページのところがやっぱり一番、
01:02:26	コメントとしての説明概要として重要なところで33って書いたコメントの真ん中の列の右側のところ、これが今回やることの、
01:02:37	やっぱりある程度すべてを表していて、次のページ7ページ見ると、これまでの検討の背景というか、経緯としてここに書いてあること重要ですね。
01:02:47	今までこういう結果終わりましたと。
01:02:49	だけれども私たちはあえて、
01:02:51	5ページで記載したコメントを言ったわけですね水位上昇側。
01:02:57	そのことをイメージで、多分、7ページの後にくっつけると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:03	そこに目的とか検討方針に書いてあるんだけど、これをイメージの図でちゃんと、
01:03:09	波源を特定しますというところ間の点線の時間体に入ってくる波源を特定して、それに対してのパラメータスタディとして、今まで
01:03:21	指針に伴う津波として想定される波源最大径水害。
01:03:25	については、パラメータスタディやってないところもあるので、やはり伊井層に対しての影響と、あと振幅に対しての影響をそれぞれ検討するためのパラメータスタディを、
01:03:36	これまでの最大ケース以外でもやっていますっていうところにつなげてそうすると8ページ9ページの話になるわけですね。
01:03:43	ただしこの8ページ9ページの内容っていうのを、やっぱり事細かに説明するっていうところは、後ろの方でもいいのかなと。
01:03:52	逆に、何を何を解析として今回追加してやってっていうところの方法論の考え方だけをまず言って、
01:04:01	結果だけさ、最初に示してしまった方が私はいいいのかなと。細かい話として、こういう話は多分、8ページとか9ページの内容と8ページの内容と違ってのは多分出てくると思うんですけど。
01:04:13	そういう意味でちょっと、何を考え方として示すのか結果として示すのか、イメージとして示すべき何が重要かっていうところをちょっとよく考えていただいて整理をしていただきたいなど。
01:04:25	気がしました。
01:04:29	あんまりこれ1人で悩まないばかりですよ。
01:04:31	いろんな人の意見を聞きながら、
01:04:34	ただ、その意見を聞く人が重要なのもしんないけど、
01:04:40	負荷俯瞰的にこう見て、これが重要だよって。
01:04:44	すいませんまずスタートポイントは、
01:04:47	最初からパワーポイントのイメージを作るんじゃなくて、
01:04:51	口頭で自分が説明するとしたら何が重要な情報で、それを簡潔に伝えるとしたら、耳
01:04:58	身振り手振りも含めて、どう説明するのか自分が、
01:05:03	1人つったって、幹部の前で役員の前に説明するときに、
01:05:07	言葉だけでどう説明するのか。
01:05:10	その言葉がやっぱり、
01:05:13	骨になるわけですね。それを最初に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:16	ちゃんと考えて議論した方が、
01:05:18	そうするともうイメージはそこにくっついて、
01:05:21	自然に資料に落ちるはずなので、ちょっとそういうふうな土壇場を想定した場合にどう説明するのか。
01:05:29	それをちょっと考えていただけたらなと思います。齋藤さんこれ理解できますよね。
01:05:36	北海道電力齋藤です。理解したつもりではおります多分、リードというか、入口のところをきちんと整理というか、その入口側、
01:05:48	見てる方にわかりやすくさえ、
01:05:51	見れば、そのあとは流れが見えるってことだと思っておりますが、例えば今回ですとパターン5とか8とかっていうところ、こういう解析をやれば、
01:06:02	埋められますよというようなことを書いてはおりますけれどもなぜそこに向かっていったのかってあたりを少し補足するようなことに結果的にはなるのかなというふうには思ってますちょっと資料の見せ方という意味ではもう少し工夫が必要かもしれませんけども、
01:06:16	趣旨としては長屋調整官がさっきおっしゃったことで我々も同じ考えの、一層の何ていうか、ずれとそれから縦方向の、そのスタディっていうことは全く同じことは考えておりますので、
01:06:30	その見せ方はおっしゃるような工夫が必要かなというふうに思っております。ちょっと、
01:06:37	パターンとか、追加解析としてのその結果を、最初にお見せするというような構成にはなってますけども、そこに至るプロセスというか、あとプラス、その結果の見え方っていうようなことなのかなというふうに、
01:06:50	考えておりますけど。
01:06:53	多分ニュアンスは同じかなと思っておりますけれども、
01:07:04	はい。谷です。全体的なお話を、調整官の方からしていただきましたけど、
01:07:12	引き続きの確認に入りたいんですけども、私もですねこの今の資料をもってして、
01:07:21	ちょっとですね、ヒアリングをやってもですね何か、
01:07:25	大事なところが大事なこととして伝わってこないっていうのを、正直思ってましてそれは最初にお伝えしておきますんで、それでもですねこの資料の中から、今後、次の会合でどんな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:39	議論が必要なのかっていうのか、確認したくって、今から確認していくんですけれども、まず大きな話としては、上昇側の話ですよね重なったときに波源が変わるっていう話。
01:07:53	で、
01:07:54	二つ目に、今回の資料で急に出てきたところとして下降側で新しい方法で、
01:08:04	評価を、
01:08:07	加えますと、保守性を考慮したんでそれが何か二つ目の大きな点っていうことでいいんですかね。
01:08:14	今回、説明はしていないんですけれども、川白の第2はの問題、これ5ページでいうと現在整理中ってなってるところ。
01:08:27	うんで、
01:08:29	これも下降側の現在整理中ってしている。
01:08:37	下降側の説明ですよね評価の妥当性と、
01:08:42	これが抜けてるね今四つ大きな話を、大きな論点になるようなことを、
01:08:49	言いましたけどもうもう1点僕こう何かこれ何か抜けてるんじゃないのかなって思ってるのが、
01:08:55	基準津波としてどう選ぶんですかと、これコメントにも、
01:09:03	この基準津波の策定で今、今まで何か影響が大きな
01:09:09	波源っていうことで何か、
01:09:11	説明してたと思うし、前回会合でもコメントしたと思うんですが、これは、どうこ、今回入るんですか次になるんですか。
01:09:22	北海道電力の青木です。
01:09:24	もう少し指摘の趣旨確認させていただきたくて28ページにおける、
01:09:31	指摘事項のNo34。
01:09:34	をお願いいたします。
01:09:40	おそらく聞かれてる内容についてはこの34番の敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定については、地形モデルとか先行サイトの評価で踏まえて、泊サイトの考え方を整理することを、
01:09:53	に対して、次回、
01:09:55	次回といいますか次回のヒアリング資料から反映されるかっていうところの通りだと思いますがその点については、次回のヒアリング資料から反映することを考えております。
01:10:06	こちらの趣旨で合ってますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:09	すいません、3、28 ページの、まさに沖さん言ったこの No. 34 っていうのは、
01:10:16	今回説明は今回の会合で説明するっていうことでもいいんですか。
01:10:20	今後説明予定って今僕の、
01:10:24	なってるけど、
01:10:27	北海道電力の青木です。ちょっと今回、今の資料ですと今後説明予定になっておりますがこちらについては次回のヒアリングだっ際には今回説明にかえさせていただいて、
01:10:37	内容についてもまた資料化させていただきます。ちょっと待って、この資料っていうのは、会合に係るイメージをしてるんじゃないかって、いや僕、これね、最初つまずいたの。
01:10:48	あの事故ヒアリングに対して、
01:10:51	今後今回っていう説明をしてるってことですかね。
01:11:00	ちょっとねそれはね我々使ってる言葉と違うので今後 9、明確にして欲しいんですけど、それで、すいません、僕確認したいこととどンドン話がずれてくる。
01:11:11	3 ページの、
01:11:13	これも何かよくわかんなかったんですけどこの今回の説明範囲っていうのが、
01:11:24	これ何か先行して今回説明するっていうのはこれはヒアリングのことを言ってるんですかね。
01:11:35	どう電力の青木です。まず 1 点補足。
01:11:40	補足させていただきたい点ございまして 28 ページの指摘の 34 番というところなんですけれども、
01:11:47	こちらについて今回ヒアリング資料と出した際っていうところでは、こちら No. 34 については、基準津波の策定というところに、大きく絡んでくる内容というふうに認識しておりまして、
01:12:01	当時は基準津波策定するタイミングっていつだっっていうところを考えた際には、組み合わせ評価は石堂終えた後に、残りのコメント回答を一通り回答した後に、この基準津波策定っていうフェーズになると思っております。
01:12:17	その際に回答するっていう位置付けだと、当初考えておりましてそういった観点で今後説明予定というところを思いまして資料化したところになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:28	ですから一方、衛藤組み合わせ評価の中での最大ケースっていうところ見えてきまして、その中身で敷地に対して OK 影響がある波源っていうところは、
01:12:38	この中でも十分説明できるんじゃないかというところで、位置付けは基準津波っていう表現はできないんですけれども、もう一番大きい波源というところの考えは、次回のヒアリングの以降の資料で説明できるっていうところ。
01:12:53	終わりましたここは今後、今後じゃなくて今回説明というところを考えているところです。
01:13:05	既設の名倉で3ページの、
01:13:07	令和5年4月21日ってこれ、
01:13:11	27日ってことはもう9曜日でプラント側の審査会合。
01:13:16	これ、私たち多分、
01:13:20	幹部も含めて地震津波側に参加してる委員とかも含めると、これ意味が全くわからないので、ちゃんと説明をこれしておかないと、何でこれが、
01:13:32	今回説明する必要性が生じたのかっていうことの説明にならないのでここはちょっと丁寧に説明をしていただけたらなと思いますけど。
01:13:42	今日はプラント側では、保守性を考慮した時間評価というものを、
01:13:49	評価としてし、主な評価とする。
01:13:53	ということを会合で議論したと。
01:13:57	その結果を踏まえて、
01:14:01	その評価項目で、
01:14:06	波源を選定してみたらこうなりましたということをやってみました。
01:14:11	ということなんですよ。
01:14:16	北海道電力の青木です。その通りの趣旨と考えております。当資料化の際にあたって、そのあたり、経緯、知らない方もおられると思いますのでその辺り丁寧に資料化して説明するという方針で、
01:14:32	変更することを考えております。以上です。
01:14:43	はい。規制庁佐口ですけど、ごめんなさいちょっと話戻りますけれども、もう1回確認をさせていただきたいのは、今回の会合でご説明をされるのは、
01:14:55	目次で、2ページの目次でいうところの5.9。
01:14:59	生まれて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:01	よろしいんですね。
01:15:03	で、先ほどのナンバー34。
01:15:08	のコメントに対する回答というのは、この5.8で、
01:15:14	回答をされると、そういう理解でよろしいですか。
01:15:32	北海道電力奥寺です。今回説明する会合で説明しようと思っている次回 のですね。
01:15:39	範囲は、目次でいうところの青字で書いてあるからちょっと黄色のハッ チングを置いといて青字で書いてあるところと赤字で書いてあるところ を説明しようと思っております。
01:15:49	その中で5.8において、ナンバー34の回答はできるものと考えてござい ます。以上です。
01:15:58	はい規制庁佐口です。そうしますと、ちょっと細かいところなんですけ ど、
01:16:03	この、
01:16:05	2ページの5.8の赤字ってシュウガキって何かっていうところ上昇側だ けの話だっていうご説明なんですけどここは両方入るのか、それとも 5.8と5.9合わせて、
01:16:18	34を、コメント34を回答されるのか。
01:16:22	ちょっとこれ色のつけ方だけの話なのかもしれないんですけど、
01:16:26	一応だから、
01:16:28	先ほどの
01:16:32	ナンバー34というのはいずれにしても、
01:16:36	今回の会を、この5.9というところまでの間でご回答いただけるとそう 少なくともそういう理解でよろしいですね。
01:16:47	北海道電力の奥寺です。表記の仕方が少し引いたりなかったかもしれな いんですけど、5.8については、
01:16:54	水位下降側の話も含めた形で整理をなすものと考えて今そういう整理を 行っております。以上です。
01:17:07	単位ですけど確認としては28ページの今後説明予定ってというのは、今 はこれは今回説明っていうことになってるとということと、
01:17:17	あとは3ページのこの、こここれを先行して今回説明するは何なんです けど、これはヒアリングの話これは、
01:17:26	介護の話で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:30	北海道電力の青木ですとこちら会合の資料というところで先行して今回説明するというところを考えております。そういった趣旨、記載の
01:17:41	伊藤というところですが、
01:17:43	泊のサイトにおいては、3ポチの日本海等に伴う津波ってところは評価実施済みのものです。また4ポチの地震津波、地震以外のように伴う津波についても評価一通り実施したというふうに認識しております。
01:17:57	一方、3ポチと4ポチに関わるコメントっていうところが一部残ってる状態になりまして、そのコメン等よりも先行して心地の組み合わせ評価を説明しているというところで、
01:18:10	先行して今回説明するっていうところを書いてるところになります。
01:18:14	これ一書くことによって余計混乱してるんじゃないかなと思うんですけども、結局、2ページの中で今回説明範囲はこれですって言ってくれたらいいだけなんですけどねと。
01:18:27	なんで別にそんなん。
01:18:32	なにに関連することを考慮し先行して、
01:18:36	クリティカルパスの話をここで持ち出されてもあって、
01:18:40	何、何を言いたいのかよくわからない、丁寧に書かれたのかもしれませんが、ちょっと今混乱して確認しましたんで、私確認したいこととしては、
01:18:51	論点と言っていいのか大きくこう今私五ついましたよね、上昇側下降側、第2は、加古川の説明選び方っていう、
01:19:02	これの五つあるうち、
01:19:05	今回は、
01:19:07	その二つ、5分の2の資料になってると。
01:19:11	論点としてはね。で、
01:19:13	もう一つ言えば、その5分の2とはいえ、
01:19:18	その中も、
01:19:20	かなり抜けてるような状態になっているっていうことでいいんですよ。確認させてください。
01:19:30	北海道電力奥寺氏今おっしゃった今回と言ってるのはこのヒアリングっていう今のヒアリングで、そういう意味です。
01:19:37	はい。
01:19:38	はい。ちょっとねだからね。何でこんな事回りくどく言ってるかって言ったらね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:44	あの会合に会合するにあたって、資料が、何。
01:19:49	今の段階ではこう足りなさ過ぎてますよっていうのを、
01:19:53	お伝え。
01:19:55	しますね。
01:19:57	実質的な確認に、
01:20:00	入りたいんですけども、さっきなんかあまり細かい話をしても、
01:20:06	しょうがないので、
01:20:09	ちょっとさっきの名倉さんの今回大事なところはここですよっていう話なんですけれども、
01:20:16	まず上昇側の波源の妥当性の確認の話をする、
01:20:21	前回の会合を踏まえるとまずどこ、どこにある波源、どこのパターンが重なるのか、それをはっきりしましょうねと。
01:20:31	これ5会合で何か共通認識を持ったはずですよ。これ、今、
01:20:37	どこに
01:20:39	結果が、
01:20:41	あるんですか、どこどこにある波源が。
01:20:45	重なるっていう整理になってるんですかまずねそこがね僕わからなくて一番最初にそれを整理しなきゃいけないことか。
01:20:54	資料見ても分かんないんですよその辺、確認させてください。
01:21:04	当北海道電力の青木です。ちょっとわかりやすさの観点でちょっと構成がよろしくないってところを、申し訳ございません。と重なるケースの、結論に該当するところですが、
01:21:16	具体的なページ番号で申しますと、127ページお願いいたします。
01:21:32	こちら127ページで説明しているところについては、地震津波の新羽と、失礼しました川白の1%と地震津波の2は東へ移動させた検討を、
01:21:43	というところになります。こちらについて重なるケースっていうところは、この右上で書いております断層パターン5を東へ寄せたケースと断層パターン長野矩形モデルを東へ寄せた件と、
01:21:54	この二つが重なるものと、整理結果にしております。
01:21:59	日本西に移動させた検討結果につきましては、
01:22:03	5ページ番号で申しますと、
01:22:11	152ページお願いいたします。
01:22:20	こちら右上に八つの箱ケース書いておまして断層パターン5から8。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:27	にかけての西にそれぞれ移動量を設定したケースというものがこの四つのケースが重なるものとして選定しております。
01:22:37	その八つのケースの内訳としては断層パターン5から8等矩形くの字のそれぞれ2パターンごとというところになります。
01:22:50	その際に八つのケースのうち、第一波のピークの推移等に着目して、厳しくなるであろうケースというものを絞り込んでおりましてそちらは、
01:23:01	結果だけ申しますと156ページお願いします。
01:23:14	ね、今ね127ページっていうのがまず出てきて、
01:23:19	いや僕はわからないのがパターンごと、パターン5の東へ30キロ。
01:23:26	パターン7の東へ15キロ両方矩形モデル。
01:23:31	これ以外は、
01:23:33	まず、
01:23:35	第2版の話としては、これ以外は重ならないんですか本当にそうなんだっけ、例えばね、いや、意地悪な話をすると、東へ30キロじゃなくて東へ25キロだったら重なるのとか、
01:23:51	重なるのを選びましたっていう話じゃなくて、どう、どういうものが重なるのかをちゃんと説明して欲しいなって思うんですけども、その辺どうなのかっていう。
01:24:02	いうのをまとめて言うと152ページで、
01:24:05	西へ20キロケース、西へ35キロケースとかってこうありますけど、これ以外は重ならないんですか藺田。
01:24:14	第一波との話、これがねまずね。
01:24:17	私はねこれはねどこの範囲のものが、
01:24:20	重なるんだっていう。
01:24:22	いうのか或いは、どこの範囲は重ならないんだっていう、
01:24:27	それをね、まず整理するっていうのが、前回の会合のコメントだったはずなんですけれども。
01:24:35	今の私の講師室質問、これ、これ以外は笠名らないで本当にいいんですか。
01:24:47	どう電力の青木です。まず東伊藤の観点というところとで言いますと、
01:24:55	順を追って正確に表記しますと一番東任用せた条件が一番重ねになりやすい条件だというところで、一番に東尾瀬田検討のみを実施している状況です。
01:25:06	そこから、この東の移動量、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:09	若干減らしたら重なるのかどうかっていうところは、まだ検討できてないところなので、間瀬整理させていただきたいと思います。
01:25:17	日本西の移動の観点で言いますと、
01:25:21	今重なるケースとして抽出されたものが、
01:25:24	152 ページになっておりまして、
01:25:34	西の移動量に関しては東西の移動幅っていうものの規定がないと、限界値じゃなくて、
01:25:41	日本海島縁部の範囲の東丹とか西さんとかそういった市じゃなくて、中心ら辺にあると、いうところなので西の移動量を扱いに変動させていくと。
01:25:52	それは重なるケースとしても抽出されると考えております。ではどうしてこの西の移動量を決めたかっていうところの説明のところですが、そちらについては、
01:26:05	ページ番号で言いますと 135 ページをお願いいたします。
01:26:15	135 ページの注釈で書いているところなんですけれども、
01:26:20	一つ目のテキストの下のところの注釈、ピークは重なる西への移動量のうち、西への移動量を大きくしすぎると第一波のピークの水位が低下していく。
01:26:32	東に寄せた方がかさ水位が大きいついていう検討結果を踏まえて、
01:26:37	西の移動量を大きくしていると大%のピークが下がってくるというところが考えられるので、重なる範囲のうちできるだけ西の移動量が小さくなるように設定しております。
01:26:47	これ具体的な例で言いますと、この組み合わせ時間範囲のうち、一番左の方では、
01:26:54	重なる条件の方が、
01:26:56	一番東にあって水位が高くなるタイプのピークの水位が高くなるっていう観点で、この決め打ちの1 ケースっていうところで検討してると思うなんかですねその細かい話よりも、
01:27:11	どこがかさ、
01:27:14	簡潔にですね、
01:27:17	示してもらいたくて、いやそうじゃなくって北海道電力はこの間のコメントのや。
01:27:24	を受けて、それをこうストレートに返すんじゃなくて、何か変化球的に返すんだっていうんだったら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:32	それで会合やってもいいんですけども、
01:27:36	僕らはコメントした何度も言いますけどもどここの範囲が重なるんですか。それを説明した後に、青木さんの言うように、この中で、
01:27:46	これ、これが最もね、
01:27:49	検討すべき波源なんだと。
01:27:52	要するに、明確にする必要ないですよ。西へ移動する範囲は、
01:27:58	15 キロから 50 キロの範囲、これぐらいに来ると重なるんだけれども、
01:28:05	そその他は重ならないよ、その中で影響が大きいのはこれだよっていうのをちゃんと整理してもらわないと。
01:28:14	これ多分僕らは、運営会合で言った通りじゃ何が重なるのか
01:28:19	説明が長く長くてよくわかんないんですけどっていうふうになりますので、
01:28:26	それはね、わかるようにして欲しいなど。
01:28:29	いうところです。結構ねいろいろ考えてやられてるのはわかるんですけども、
01:28:36	肝心な何から伝えていくのかっていうのが、
01:28:41	資料見てても、
01:28:43	わかりにくいなと思っていますんで、なおかつ、これ僕抜けてるなって思ってるのが、断層パターンのこう整理なんですけど、何か四つのパターンで整理しますよっていう宣言がちょっと薄過ぎて、
01:28:58	パターン 1 とパターン 5 でしたっけ。
01:29:01	それとも、
01:29:03	一緒に整理してんですよ。
01:29:05	整理の 2 と 6 でしたっけ。
01:29:10	四つに絞ってるんですね、99 ページの。
01:29:14	パターンが八つあるものを、
01:29:18	傾斜角と傾斜方向で分類して、四つにシンプルにして説明してんですよとかねその辺の話もね、
01:29:29	何となくしか書かれていなくて、
01:29:37	すいませんとめとめどなくなんか言ってしまってますけど、あと前回こうだったとかいう話とかはもうちょっと置いといてもらっていいので、前回までこうだったとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:47	そういう話はよくて追加解析がこうこれが追加解析なんですとかいうのは、もういいので、前回の検討と今回の検討と併せて、結局どこが重なるんですかっていうのを、
01:30:01	整理してもらった必要があるんじゃないのかなというふうに僕は思います。
01:30:15	電力、奥寺です。ちょっと重なる重ならないっていうところは、
01:30:23	最初、最終的にどれが影響を大きくて重なるんだってところの、その辺に私の頭が行き過ぎていたの可能性おっしゃってることを、
01:30:34	素直に今、
01:30:36	はわかっており、わかっております今のやりとりってというのは、ただ結果の示し方として私らがわかりとかこの検討の中でわかりってというのが私の頭では、
01:30:48	こうだからここを影響が大きいんだ、影響が大きいんだと。
01:30:54	というようなところにちょっと頭が行き過ぎていたのかもしれないのでその辺の今の事実確認でのやりとりを踏まえて、もう少しシンプルにまずはどこからどこの範囲で、
01:31:06	時間単位で重なるんだ、ずらしたら重なるとか範囲の話ですね。
01:31:10	どのパターンが、
01:31:12	それーを踏まえて、こうこうこういう条件のもと我々が影響大きいのを考えていくと。
01:31:19	こういう、最終的に今私らが示しているという考えに至っているっていうところが明確になるように整理したいと思います。
01:31:27	以上です。
01:31:29	井谷です。お願いします。ちょっと細かい話もできないんですけどもね。
01:31:34	できないってというのはもう何か、1 ページ 1 ページ言ったらきりがないので、
01:31:39	あとね私はこの上昇側の話で、
01:31:42	概略パラスタってというのは、
01:31:45	何をパラスターしているんですけど、7 には炙り出すような、
01:31:52	パラスタなんですか、概略パラスタ（イ）層の観点っていうふうになってるんですけども。
01:31:59	これちょっと教えてください。
01:32:10	工藤電力の青木です。11 ページ、お願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:23	こちらで、各断層パラメータの変動による違いっていうところを整理しております、簡潔に言いますと概略パラスタの位相の観点で検討してる項目っていうところは、位相に影響の大きいパラメーター
01:32:35	が変動するっていうところを整理したところになっております。その中で、断層パターンについては八景ごとに状況が違うっていうところで、パラレルに並列に検討しているっていうところ。
01:32:48	あるっていうのに踏まえた上で、東西方向位置と算モデル区野地モデルの違いっていうところで、位相に影響が大きいので、そちらを検討しているということになります。
01:33:06	はい、谷です。根井。
01:33:13	重なるか重ならないかをパラスタしましたって話なんですか。
01:33:25	新得が大きいものをパラスタしているのか、両方やってるのか。
01:33:33	パラスターって何なんだろうなって思ったんですよ。そこは重なるものを探し合っている。
01:33:40	という意味で言ってるんだ。
01:33:43	藤北海道電力の青木です。重なるものを探しあてるって意味で、
01:33:48	組み合わせ時間範囲にはいピークが入るものを、
01:33:52	衛藤断層パラメータの変動をして選んでいるということになります。
01:34:00	はいってもいいです。それで、
01:34:03	東西一応、
01:34:06	すいません。どう動かしてパラスターをしているんですか。だって、重なること小原重なるかカラス重ならないかをパラスターを。
01:34:17	してるんだったら、いくつかパラスタしたものがあってそのうちこれが重なりますよっていう結果になりそうな気がするんですけども。
01:34:27	それはそういうパラスターじゃないんだ。
01:34:32	北海道電力の青木です。今やってるものとしては、117ページお願いいたします。
01:34:48	こちら東に移動させた検討でして、このグレーが木の箱の一番上段の一番右側に書いてる検討ケースって書いてあるものが、
01:34:58	実際、
01:34:59	概略パラスタとして実施した形成になっております。
01:35:03	その中で断層パターン5の矩形モデルの一番東に寄せたものを、黒字に東に寄せたものという形6ケースやりまして、その6ケースのうち重なる結果を抽出したものが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:15	結果っていうところで、
01:35:17	ちょっとページ変わってしまいますが、
01:35:20	断層パターン5と7の矩形モデルの東に寄せたもの。
01:35:25	127ページのもの選ばれたというところになっております。
01:35:32	井谷です。
01:35:34	いややっぱりね私がこれをうまく理解できてなかったですね、検討ケースっていうのはもう何か。
01:35:42	ここで言うとは、8項、
01:35:45	こうやってそれが重ならないかを確認したよと。
01:35:49	で、だったら、だったら、
01:35:53	何、何でじゃあ、
01:35:57	どの範囲が重なるかとかはこれをやってちゃわかんないですよ。
01:36:02	ていうこと、どここの位置までが重なるかとかいうのは、これじゃわかんない。
01:36:08	ていうことでいいですか。だからこれ、何かそうやって、最初にね。
01:36:11	この何か重なるものの中で一番大きなものを選びましたって言うけれども、
01:36:18	何かそういう説明になってない気がするんで、
01:36:22	多分何かこう決め打ちで、
01:36:24	選んだものを重なるか重ならないかを確認しました。
01:36:29	ていう。
01:36:34	北海道電力の青木です。戸谷さんおっしゃられてるところって、例えば東新居、幸喜大東20キロ東に15キロとか細かく刻んだパラスタースターやってる。
01:36:46	わけじゃないですよという確認だと思うんですけどそういった出社と衛藤東の移動量って一番重なりそうだったという条件決め打ちで1ケースやってる。
01:36:55	という結果になっております。
01:37:10	どうしていけば、総務連れていくよねっていう設定が、
01:37:14	ことは、特に、
01:37:17	ここは多分入ってない。
01:37:21	関連付けて見えない。
01:37:30	規制庁佐口ですけどごめんなさいちょっと私からも確認っていうのか、
01:37:36	私の理解は、今少なくとも、この断層パターン四つ、5678で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:37:43	基本の1っていうんですかね。そうそういうものと、最も東へ可能な限り、例えば東へ動かしたときに、その
01:37:54	移送の時間のずれっていうのを変動が、
01:37:58	どれくらいあるかっていうのを、
01:38:00	見て、それで重なる可能性があるのかないのかっていうのを見ているのかなと。
01:38:08	ちょっと資料からそう見たんですけどそういうわけじゃないですか
01:38:12	電力奥寺宇津佐口さんがおっしゃったことで、概ねです。そういうことです
01:38:19	135 ページをご覧ください。
01:38:25	135 ページで、既往の結果のようなものから、何十秒ずらすと、どのくらい位相差が出るんだっていうのを、
01:38:33	特定した上で移送のパラメータスタディと言ってるのは、
01:38:37	1層に関連するものは、1か。
01:38:42	不能時の形状みたいな
01:38:44	位置が剥げモデルの位置が変わってしまうところが、
01:38:48	一番ピークの重なりとかに影響があるという意味でのパラスタでそのパラスタの対象というのは、今135 ページに示したようなところから、何秒ぐらいずらすと。
01:38:59	一番影響のある範囲になってくるのかっていうところを特定した上で、
01:39:04	117 ページの、今検討ケースがこれになりますよっていうパラメータを特定しては、
01:39:11	ハケを出しましたということを書いてますそれをパラメータスタディと言ってます。
01:39:17	そこが、
01:39:19	どうしてこの検討ケースに至ったのかというところがわかりづらいと。
01:39:24	ということと理解しました。今のやりとりを、
01:39:35	規制庁の名倉です。
01:39:38	概略パラメータスタディを実施してそれはあくまでも、
01:39:43	移送。
01:39:44	その観点でやっている。
01:39:47	おそらく、概略パラメータスタディをしていく中で、傾向的には、
01:39:52	振幅方向の影響というものも傾向として現れるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:57	その件については、後の詳細パラメータスタディ、どれと組み合わせるかっていう時にその傾向もちゃんと考慮した上で、
01:40:07	波源を特定していく。
01:40:09	というやり方をしているんですね。
01:40:13	だからそこは、概略パラメータスタディの目的が何であってどこまでをやるのか、概略パラメータさ、その結果を踏まえて詳細パラメータスタディの中で、
01:40:23	波源を特定をするときに、その経過もちゃんと
01:40:28	概略パラメータスタディの経過も踏まえた上で、
01:40:31	詳細パラメータスタディのパラメーターは元のパラメータをすべて特定していく。
01:40:38	ということをやりますよね。だからそこら辺をちょっと、
01:40:41	ちゃんと説明してもらう必要があるのかなと思っています。
01:40:54	北海道電力の奥寺です。
01:40:57	概略、
01:40:58	の目的というのは今までは元のその分析とかやってくると、ピークが重なったときに、ピークとピークが重なったときに跳ね上がる傾向があるってのが見えているのでその、
01:41:11	ピークの位置に一番効くパラメータはどれなんだということを考えたときに、
01:41:17	1に関連するパラメーターなので、その位置を特定した結果が、先ほどの6ケースでしょうか東へ移動ですと、そういうことを言ってます。
01:41:29	で、市が得て、ピークが重なったときに、どのぐらい細かいパラメータがきくかというのを詳細パラメーターの方にまわしているというような位置付けで、
01:41:39	最終的にはこのぐらいの数字になりましたということを説明したいということを行っているつもりなんですけれどもその、
01:41:48	6ケースに特定先ほど言った、ここからどこまでが重なるけどここはこういう理由で除外できるからのケースなんですよという説明が足りぬまと概略パラメータスタディは72、
01:42:01	を主眼に、
01:42:03	どういう理由でやっているかっていうところが見えづらくて詳細は何をやるかその辺は、いろんなところに、
01:42:10	おそらく説明が散っているように、私たちの私の考えれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:19	私の頭の中で流れるように説明しているつもりなんですけれどもそれがわかりづらいということが理解できたので、
01:42:26	そこ。
01:42:27	無駄なのかなと思いました。以上です。
01:42:33	北海道電力の青木です。ちょっと混乱させてる要因っていうところで私なりの解釈考えてみたんですけど、
01:42:41	マイナスパラメータスタディの一層の観点っていう記載ぶりっていうところと、東西方向位置の話もあって、重なるケースを東西に細かくパラメータスタディして重ねケースを特定するっていう作業をやってるってこういうこの概略パラメータスタディで見えてるっていうところかなと思っております。
01:42:59	実際やってる内容としましては重なりそうな、東西の移動量を事前に決めた上で、そのケースを実際に解析をやって重なるかどうかを改めて確認したっていう位置付け。
01:43:12	なっておりますのでその辺りがわかりやすくなれば、ちょっとこの困難というところが解消できるのかなと考えております。以上です。
01:43:27	井谷ですその辺のだからかさこれが重なるんだという。ここ根拠というかね、その辺の入口のところをまず説明して欲しいのと、
01:43:38	あとはあれですかね
01:43:41	どこまで寄せるんだってというのは、第1、第2話は110ページ、この範囲までは要請出るから、
01:43:54	行政れるよっていう整理になってるってことでいいんですかね。もうこれ以上は寄せられなくて、
01:44:01	第2班の場合はこれを考えればいいんだよと。
01:44:11	当北海道電力の青木ですまず東の移動量110ページにつきましてはこの移動量は、各断層パターンごと一番上限値になると考えておりますその考え方については地震津波の審査の際に説明した。
01:44:25	日本海島縁部の範囲を網羅できる移動量というような設定根拠になってございます。
01:44:31	続いて西の移動量に関する設定根拠というところが135ページ。
01:44:36	になっておりまして、
01:44:40	こちらは議論の中で、
01:44:43	口頭でお伝えしてるところもあるんですけど西の移動量というところは幅を持って重なるケースっていうものがあるっていうふうに考えており

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ます。その中で重なる範囲のうち一番厳しくなりそうな条件が何かって いうところを整理したところを、
01:44:57	この資料でうたってるものになっておりまして、
01:45:01	こちらは、今ある分析結果の中から、
01:45:05	西の移動量、この 20 キロってあたり 35 キロってような移動量をさ せると、ピークの位置がこの辺りになりそうだっていうところを確認し た上でその道路に設定して、
01:45:16	その移動量を 1 形成ずつ断層パターンごとを実施しているというよう な立て付けになっております。この 2 班重なる範囲のうち何ケースか重 なるっていう中で、
01:45:28	この移動量一つだけ、各断層パターンごとに決めてるっていう根拠につ いては、移動量を大きくしすぎると、松井が下がっていく傾向があるだ ろうというところが見えてきておりますので、
01:45:38	このピンクの範囲のうち左側の推定ピーク 1 って書いてるものが、その 範囲のうち左側になるように設定しているものになってございます。
01:45:47	以上です。
01:45:52	井谷ですんでね。だから 110 ページはこの範囲で、
01:45:58	明示してるわけじゃないんですけどこの範囲で検討するよっていう、
01:46:02	そういう宣言ことちょっととったんだけど、
01:46:06	135 ページは、これとなんか対になる資料でありながらそうじゃなくっ てどこ、どこまでの範囲で検討するのかっていうのが、
01:46:15	示しているわけでもなくてっていうこの、
01:46:19	何て言うのかなあ、どういうルールでやってんですかという、いうよう なところがね、何か。
01:46:27	うまく整理できる。
01:46:29	てるのかなっていうのが、
01:46:34	よくわからなかったですねここの説明はね。いやこれはだから、135 ペ ージは日英等に、東側に移動させるような、
01:46:45	ケースの約 110 ページの逆のようにここまでなら動かせるんだけど も、
01:46:52	そんなことはしなくていいんだ。
01:46:55	ていうような、
01:46:56	ところがよくわからなかったから、何かまるでだから 135 ページも、結 局何か決め打ちをしていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:47:05	ここが重なるっていうのを、
01:47:08	決め打ちした上で、
01:47:10	そのあとにパラスタっていうのが何か、
01:47:14	そのあとに移送。
01:47:16	に着目してパラスタするって何だろう。
01:47:20	というのがわからなかった。いやだってこれパラスターでね、じゃあパラスタで重ならなかったらどうすんのかなとか、もうこれは、
01:47:30	どっかに移動させたらもう重なるんですよこの、
01:47:34	5678 をこう、
01:47:36	西側に移動させるとね。
01:47:39	なんかねそんな話が、
01:47:42	わからないし、
01:47:43	わからないし、20 キロ、
01:47:47	20 キロを動かせたのが、
01:47:50	今の、だから沖さんの説明と一致しないのが 20 キロ。
01:47:56	移動させた場合にはね 120 秒移送が遅くなる見込みであるのは不明なんですよ。
01:48:01	なるほどなど。
01:48:03	以上を踏まえる等って言って始まって、
01:48:07	組み合わせ範囲内で発生する可能性が否定できないと。
01:48:12	ここの否定できないものが、
01:48:16	否定できないって言うだけのパターンですよ。これをその先の検討で、いやいやこれが重なる中で一番大きなものと考えてます。
01:48:26	ていう説明はさすがにね。
01:48:30	私は理解できなかったですね、いや、ここ。
01:48:36	ここいつが重なるものの中で一番影響が大きいだろうと思ってるんですよ。
01:48:42	今の青木さんの説明を聞くと、
01:48:45	それが何発生する可能性が否定できない。
01:48:50	どころ追行。
01:48:56	当北海道電力の青木です。衛藤 135 ページはちょっとわかりづらいうところで申し訳ないと思っているんですけども、この 135 ページの位置付けっていうところは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:49:08	追加解析ある蔓延の段階で既往の分析結果を用いた、あくまで推定という位置付けになりますので、この結果だけをもって重なるかどうかというところは、ある程度の見込みは立てれるんですけども、
01:49:24	絶対重なるかっていうところが言い切れないっていうところも踏まえて表現として可能性が否定できないというような位置付けにしております。実際どうやったら確認できるかって考えたところで、追加解析実際にずらしてやってみて、
01:49:39	それで検証していくっていう、その検証した後に重なるかどうかははっきりするっていうところがありますのでそういったたてつけで、ちょっとわかりづらい資料になってるのかなというところになりますよね。そういうっていう話だったらね。
01:49:53	じゃあ、じゃあこれ 20 キロじゃなくて 15 キロもやったほうがいいんじゃないですかっていう話になりますよね。
01:49:59	いやいや、
01:50:01	20 キロ動かしたのが一番こう聞きそうだからっていうそれをスタートにしてるんでしょ、これじゃ 15 キロの方が影響があるかないかってどうどこを見たら確認できるんですか。
01:50:17	だから、ちゃんと。
01:50:19	ちょっと言いたいのは、
01:50:22	結果をもとに、
01:50:23	いろいろ説明するのはいいんだけど、
01:50:27	結果だけでは、最終的には説明できません。
01:50:31	それをある程度考察を加えて体系的に持っていかないと、
01:50:37	だから、すいません最初に整理してもらいたいのは、
01:50:42	どの段階でどのような検討をして、何を、
01:50:47	目的としてその目的をどう達成するのかというのを最初に考え方をちゃんと整理しないと、
01:50:54	さっきの詳細パラメータにしても、概略パラメータにしても、
01:50:58	下概略パラメータ詳細パラメータの関係にしても、
01:51:02	何を目的に、どういう解析をして、それを囲い込んでいくのか。
01:51:08	今までの傾向でいくと、結果をもとに何か説明をしようとしていて、
01:51:14	結果から、すべて物事を言おうとしてるんだけど、結果だけでは説明できないところについてどうやって考察するの。
01:51:22	それをちゃんとつないでいかないとおそらく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:51:25	今みたいな議論になって、
01:51:27	それって本当に大丈夫。
01:51:32	本当に、
01:51:33	影響が大きいパラメーターモデル。
01:51:36	ちゃんと選定してるんですか。
01:51:42	ていう話になっちゃうので、ちょっとここら辺は要注意かなと思います。
01:51:47	ちょっと体系をちゃんと作って、
01:51:50	体系を説明していく中で、
01:51:53	結果と考察をちゃんと加えて裏付けしていくっていう、
01:51:58	形ですかね。
01:52:00	それをちょっとやっていただきたいなど。
01:52:08	他、規制庁昨日ごめんなさい、あくまでもこれ御社がどういうふうに説明されたいかというところの確認で、予兆私の、
01:52:19	認識が、
01:52:20	合ってるかどうかそれがいいか悪いかは別の話ですけど、なんですけど110ページで言ってるのは、
01:52:27	当然ながらこれまでの、
01:52:32	単体ですよ、単体の
01:52:35	結果、
01:52:38	この傾向から、当然東に、
01:52:42	波源がある方が申告。
01:52:45	要は津波が大きくなるという傾向があるっていうことを踏まえて、
01:52:51	東に移動させる場合は、
01:52:55	最大になるように、
01:52:58	一番左に可能な限りまず左に寄せますと、
01:53:02	逆に、その135ページっていうのは、
01:53:08	今度、本部かどうかちょっと別ですけど、西に行くと、基本的には津波の水位は下がるので、
01:53:17	西に移動させる。
01:53:21	中出。
01:53:22	要はその重なる可能性がある、要はぎりぎりのところを、
01:53:27	ねらって、今、
01:53:29	こういう設定を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:32	して、
01:53:33	概略パラではですね。
01:53:35	で、
01:53:35	そのあとはちょっと私もよくわからないんですけど詳細パラで例えば、これをさらに、
01:53:41	5キロとか、もうちょっと縁にするとか、東にするとかそういうこともされるんですかそれとも本当にこの位置だけはここで決め打ちで、
01:53:51	やられるんですか。
01:53:54	北海道電力の青木です。まず東井戸の考え方は、おっしゃってる通りで、我々と同じ認識分かれております。西井戸の考え方も、西に移動させる範囲のうちできるだけ東にある方が厳しくなるっていう考え方。
01:54:10	については同じ考え方持ってる場所ですねその中で詳細パラ言った時に、この西の移動量、どこまで変動させるかっていうところにつきましては、
01:54:21	まずは、今、この
01:54:24	決め打ちの20キロ35キロっていう設定ケースに重なる見込みを確認しておりますその中で、組み合わせ評価をやっていってその組み合わせ評価の結果を見た上で重なっているかどうか。
01:54:37	ていうところがはっきりわかるのかなと思っております。その中で重なっていないような形成とかがあれば、その東西の移動量というのを、若干調整して重なるようにしたりとか、
01:54:49	そういった追加の検討が発生するのかなというところを考えているところでございます。以上です。
01:54:57	概略。
01:55:02	はい規制庁細部ちょっとちょっと誤解のないように考えが同じだからいいとかっていうそういう話じゃなくて、御社がそう考えているのかというのを、今私は、
01:55:13	確認されさせていただきただけで、
01:55:17	笠田の買ったら、さらにちょっと変えます、移動移動させますみたいなことを言っておっしゃられましたけど、それは詳細パラとしてやられるのか、少し頭を支援する概略パラとしてさらに、
01:55:30	やるのか。
01:55:31	要は、
01:55:33	うん。笠間。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:34	釣り合うの確認するためのパラメータスタディのほか、やっぱりここはやっぱり、もともとのやっぱり目的ですよ。
01:55:43	大楽荒の目的ってなんだっていう、そこがやっぱりちょっとなかなか見えないのかもしれないですし、本当にじゃあもし、
01:55:50	重なればそうそれで、はい終わりで決め打ちで本当にいいのかどうかっていうのも当然あると思いますし、
01:55:57	それは多分今日の、
01:55:59	資料には全くまだ出ていない、いわゆる、
01:56:03	対の観点からも、
01:56:06	何か考察じゃないけど、検討っていうのも当然され、
01:56:11	てるんですよ。
01:56:13	それが次回のヒアリングで出てくるのかどうか。
01:56:17	ていうところですけどそれを見ても我々も、
01:56:20	どうかというのは当然言えないんですけど、
01:56:23	いずれにしても、御社がそういう考えでご説明されたいと。
01:56:28	いうところは、一応確認はできましたので、本当に誤解のないように、
01:56:35	聞いておきますけどその認識があったからそれがいいとか悪いとかそういう話ではないので、今、どういう考え方でされてるのかっていうのだけをちょっと確認をさせていただいたというところですよ。
01:56:48	北海道電力の青木ですちょっと私の言い方が考え方は一緒ですよという表現がちょっと適切じゃなかったというところをお詫びいたします。4、当社の考えっていうところ。
01:56:59	を、説明したかったというところもありまして、ちょっと同じですよと表現したところでした。失礼いたしました。
01:57:20	電力奥寺です。先ほど詳細で微調整するっていう、動かしてっていうことを、
01:57:27	非常に聞こえてしまったかもしれないですけど概略で、
01:57:31	言いたかったこと概略で微妙に外れてたとか、判定が難しい結果が出たら概略の範囲の中で何キロずらして重なるようなものをもう一度確認するということを言いたかった。
01:57:43	です詳細の方法に行った時にそこでまた動かすとかそういったことは考えてないです。理由は、重なったときに一番厳しそうな重なり方をしたときにピークが跳ね上がるっていうことを考えていたので、
01:57:57	その重なるっていうところは概略の中で決めていきたいと思ってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:58:01	以上です。
01:58:18	ちょっと
01:58:21	考えてるねロジックがよくわかるようにですね、して欲しいんていうことに尽きるんです。で、今の資料で、やっぱ細かな話になってしまうかもしれないですけど、
01:58:34	僕はこのもう、感想みたいなことだけ言いますけど 98 ページが、これは何を言いたいのか。
01:58:41	よくおはわからなかった。
01:58:45	で、
01:58:46	99 ページも、
01:58:48	何かフェーン同幅を整理したってこれ整理したって何、何を整理したのか、こういうのをやってるっていうだけだったんじゃないのかなって思うのと、
01:58:58	それで 100 ページ、101 ページ。
01:59:04	7、何をす言いたいのかが、何かいまいちわからないんでコメント 2、コメントに答える。
01:59:11	前段としてこの辺の何か市長がこうなんか曖昧な、
01:59:18	ページがあることによって、何だかですね、ストレートに一度ここでコメント回答が始まるのかっていうのが、
01:59:26	わからなくなっているのかなと。
01:59:28	思ってます。
01:59:41	これ何か時間。
01:59:43	聞こうかなあ。いやもうもう、粗相そんな感じをしましたんで、このページで言いたいことがあるんだったら、しっかりと書いてくださいと。
01:59:53	一体だけです。
01:59:58	ですすねえ。何か、
02:00:01	あと資料全体を言うと、
02:00:04	何か章立てがねえ、もう次の話にちょっと移ってしまいますけど、
02:00:10	章立てが何かよくわからなくて、
02:00:14	例えば 3-2、目次を目次で話しますとね。
02:00:19	3 ポツ、
02:00:21	地震に伴う津波っていうのがあって、
02:00:25	これってあれですよ地震のこれ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:00:28	まとめ資料ってということでいい委員ですかね。ここの今の作り方は、3.1で、いきなり保守性を考慮した時間の定義、
02:00:39	地震に伴う津波で、
02:00:42	いきなり始まるのが保守性を考慮した時間の定義って何だろうと。
02:00:47	保守性の話だけをすると、
02:00:51	4ポツは地震以外で今回説明から抜けるんでもいいとして、
02:00:56	3ポツって、
02:00:58	こんな内容なんですかっていうのを、正直、
02:01:05	思ったんですけどさ、3ポツって何かもっと地震に伴う津波っていうのがずらずらっとあって、最後にこういうのが来るんじゃないですかね。
02:01:17	後、北海道電力の奥寺です。
02:01:21	ここで補正力考慮した時間、こう定義っていうところを出したところってというのは、地震に伴う津波を検討するんですけども、そこで、
02:01:32	加古川の波源選定の際にどういう指標を取るかっていう話をしなければならぬのでどこかでこういう定義をするんだよっていうことを明示しとかないとお前らちゃんとやってるのかっていうようなわかりづらくなると。
02:01:48	既設の名倉ですいませんちょっと途中で、
02:01:52	この一章から9章っていう目次構成は、
02:01:56	取りまとめ資料上の目次構成なんですか、それとも、
02:02:00	今回の会合用の目次構成なんですかどちらなのでしょう、っていうそれ、ただ単にその質問だけです。
02:02:10	北海道で抜くのは大きいです。藤基生はこの1章から9章までまとめ資料の目次っていうところで作ってきたところではありますが今回の資料に限っては3ポチの地震津波のところだけ、
02:02:22	ちょっとそういった記載ぶりになってないので、どういう位置付けなんだろうというような指摘かなと思っております。まとめ資料という目次という観点ですと、地震津波の3ポチってというのは過去の審査会合で一通り説明した。
02:02:36	内容がありますのでそういったメニューが入るはまるものと思っております。ちょっと今回説明したいところだけ3.1から3.3というところで、抜き出しておりましたのでその観点ちょっと、
02:02:49	記載ぶりとか考えてまた検討させていただきます。以上です。
02:02:56	うん。はい、わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:03:00	うん。
02:03:01	これやっぱりこういうのは社内でもね、おかしいなって思って欲しいなと思うんですけども
02:03:08	はい。
02:03:11	この話。
02:03:12	入ろうかな、保守性を。
02:03:17	ここ方の話方よりも消火、私ねこの
02:03:21	保守性を考慮した定義って新しい下降側の第4の方法を、今回、
02:03:29	出してきたと。
02:03:31	いうことかと思うんですけど、これ、加古川って結局、19ページで言うと、
02:03:37	下降側の変更。
02:03:39	3号炉の下降側の、
02:03:42	水変動量。
02:03:44	貯留堰を下回る。
02:03:48	継続時間、パルスを考慮しない時間、こう修正を考慮した。
02:03:52	時間って四つやっていきますよってということで言われてる、この四つな。
02:03:58	何、何、何で四つになるのかっていうのと、この扱い、使い分けって、
02:04:05	どういう目的になるのかっていうのが、すいません資料ねそんな、これはあんまり読んでないんですけど、それどこ見たらわかるんですがこの四つを評価して、
02:04:15	それぞれはどう使うんですか。
02:04:18	どうどうして必要なんですかの方がいいのかな。
02:04:21	基準津波を
02:04:23	考える上で、
02:04:31	同電力の青木です。下降側の評価について、
02:04:37	基準津波としての考え方については、次回のヒアリング資料でいうところから説明させていただくことを考えております。今時点のこの地震津波の評価の中のこの四つの項目あるっていう考え方どういう考え方かっていうところ。
02:04:52	補足説明資料の14ページの計算条件のところを書いてるところでして、
02:05:01	あ、失礼しました14ページとなります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:12	まず 3 号取水口の下降側の水位変動量のものについては、もうポンプの取水可能性を高まる下回る可能性の高い波源の選定、
02:05:21	下回る継続時間パルスを考慮しない時間については同じくポンプを下回る可能性高い波源の選定で保守性を考慮した時間については、容量の評価が厳しくなりません。すいません規制庁杉田多分こういう補足説明資料の細かい計算、
02:05:36	常備の話ではなくて、
02:05:42	一応、先ほど冒頭の方で資料構成の話とかは名倉の方からもしてるんですけど、一応説明上 18 ページから本日の説明概要というのが入るわけですよ。
02:05:54	一応ここで唐突に出ているこの青文字の方書いてあるほにやらの観点からってというのは、これは、
02:06:02	一応前回の我々の津波評価の会合以降に、耐津波設計の方で大きな方針の変更があったので、間に別のトリガーが入る。
02:06:13	ですよ。なんで前回の※水位下降側のコメント回答をストレートに打ち返せばいいのではなくて、その間に別の設計側の方の方針が固まったんで、
02:06:23	それによって、変化球で帰ってくるわけですよ。
02:06:26	で、一応この青文字のやつ見るとここで裸で出てくるのはさて大きい一応これが 4 月 27 日の会合でも 40 ページを 21 ページで、何か二つ、もともとこれは従来から二つありましたよね、これ。
02:06:40	二つの方法があって結局どっちを基準適合の評価とするんですか、教えてくださいと言ったら、一応それについてこの青い方、
02:06:49	もう、基準適合の評価、耐津波設計上の評価として設定します。
02:06:55	さらに次のページに行くと何かそういうことになったんで今後基準津波の影響を確認し、
02:07:02	と言ってるんで 1 回玉が今度、津波側の方に来ましたと。
02:07:07	で、
02:07:08	これで保守性を考慮した時間を定義するといってこれ新しくこの青文字の方法に対応するものとして、新しいや定義を考えますと、
02:07:18	赤いもともと赤文字で書いた 40 ページの赤文字で書いてたっていうものは、これはなぜ生きてるんですか。
02:07:25	これも基準津波の策定上この両方。
02:07:29	必要です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:31	従って、新しくこの津波がですね、津波評価側で保守性を考慮した時間を定義して、それによって基準津波も作るし、それまで何か説明した二つのやつですね、49 ページで言うと、
02:07:45	パルスを考慮しない時間貯留堰を下回る継続時間、
02:07:49	これも引き続き必要で、三つについて説明をしてこれを基に基準を定めよう。
02:07:55	なんですかね、これ。
02:07:58	全部で幾つあるんだこれ、こうやっていくと。
02:08:02	もともとのパターンが三つあってさらに地形モデルなんか考えると 3 筧 4、
02:08:07	12、
02:08:08	作りますペースです。
02:08:10	そういうことなんです。ちょっとねこの、
02:08:14	引き続き何が残っていて何を津波評価の方で敷地に最も影響が大きい波として、
02:08:21	被選定するっていうところに残ってるのかが、ちょっとそこがねまずわかんないんですよ。
02:08:46	衛藤電力の青木です。基準津波としてどういった項目をどう選んでいくっていうところちょっと資料ができてないところ申し訳ございません。こちらについては、指摘事項の No34 の回答の位置付けになると思ってまして。
02:08:59	次回のヒアリングまでにちゃんと考え方を整理してお示ししたいと考えております。今の資料はこれ、そうすると、今後も何か、
02:09:10	貯留堰を下回る継続時間パルス系考慮しないかん。これ最後基準津波。
02:09:15	選定上どういう扱いなのかあやふやなままずっとこの
02:09:19	コメント書いて続けていく。
02:09:21	ということなんですが一応、次回のヒアリングではそこはクリアになって、扱いがはっきりするならいいんですけど、何か基準津波の策定に必要なのか必要ないのかわからないけれども、
02:09:32	何かこのパラスタのとか組み合わせたところの妥当性を、これ延々とやりとりをするんですかそこは。
02:09:41	ここの 3 ヶ月後におきたいって言われても困るんですけど。
02:09:46	電力の青木です当庫の考え方っていうところ。
02:09:51	ちょっとその基準津波の考え方を説明する前にこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:09:55	ケース載せていたところで、考え方はわからないというところ申し訳ありません。なんで、こちら、
02:10:01	というか多分奥田さんとか、SARRY、もっと多分上のレベルでの、多分きちんと意思決定がされてないんであれば、それされてからでもいいし、
02:10:11	ちょっと細かい方法、どういうことをお聞きしたいのではなくて、
02:10:18	いや、もっと上の例の候補者としての方針なんですけど、
02:10:24	はい、奥寺です。補正を考慮した時間を試行しているんですけども、まだちょっと最終のまとめに至っていないというところです。
02:10:35	わかります説明上、比較とかでしたりして最終決定していくので今、貯留堰を下回る時間パルスを考慮する時間っていうのを、数字として今出しているような状況です。
02:10:46	を目指してる方向は教えを考慮する時間と思ってます。以上です。
02:10:51	はい、わかりました。そうすると今 41 ページで言うと、
02:10:56	今後、保守性高齢者時間に関する基準津波の影響を確認し、この影響を今確認している段階で、ある程度この影響を確認したらば、
02:11:06	基準津波の策定のときにどのパターンの、どの、
02:11:09	クライテリアで、基準津波を策定するかというのが、策定するかというのは、そこを今今日確認して、その後に判断すると。
02:11:18	ということですね。今その途中の段階というですね、わかりました。
02:11:22	その上でですね、ちょっとこの 19 ページのところをこれ、最終的に影響確認した結果どうなるのかなんですけど、こっち潮流堰を下回る継続時間等をパルスを考慮しない時間って、
02:11:36	今回、その保守性を考慮した時間を定義したことによって、何かこの時間の他社の計算の仕方とか、積み上げ方を変えたわけでは、
02:11:47	ないはずなんですけど、なんでここ変わっちゃうんですかね数字は確かなんかケース C とかケース D っていうのは、
02:11:54	これ地震に伴う津波単独の評価ですよ。
02:11:59	なんでそこで、
02:12:01	この数字が何か変わるのか。
02:12:06	萩は下ですね、波源も変わるし高評価値もそこで変わってるし、
02:12:11	何で変わったんですしたっけ。
02:12:21	いや単純に、前のページ 18 ページを見ると新しく保守性を考慮した時間を定義したので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:28	これについて、もともとやってた地震に伴う津波の評価に当てはめて選 びますと、一番 19 ページの一番下の行が出されます。以上だったらわ かるんですけどね。
02:12:39	特に定義も何も変わってない。
02:12:41	上の二つの、なんでしたっけ。
02:12:43	一番右ですよ。
02:12:46	地形モデル③のやつが、
02:12:48	これだけ何か変わるんでしたっけ。
02:12:54	北海道電力の奥寺です。
02:12:58	波源が、波源といいますか秒数が急増急減っていうようなところがある というのは前回、
02:13:04	そういう特徴がある程度あるというところの説明させていただきました けれども、
02:13:11	貯留堰を下回る時間については 255 秒が 270 秒ということで、15 秒 差。
02:13:18	パルスを考慮しない時間については 313 秒が 338 件ということで、この あたりの数字というのはデジタルの数字で言うと更新されてしまうとい うことで、ほぼほぼ
02:13:34	言い方悪いですけど、黄砂みたいな部分っていうのは、出てくる可能性 っていうのはあるんであまり大きな影響はないというような判断をして ます。
02:13:44	以上でいやいやごめんなさい。
02:13:46	いやすみません規制庁の名倉です。これもぎりぎりやっていくとまた変 な議論になっちゃうんで、ちょっと、
02:13:55	言いたかったのは、
02:13:57	パルスを考慮するしないっていう議論って、こちらからいろいろ指摘を した中で始まった議論で、
02:14:05	それを考慮していろいろと時間を、これまで評価してきたんだけど、
02:14:10	結局、最終的に施設側で、
02:14:13	使う評価が何かっていうことで、ちゃんと議論をしてもらおうと、どうも これは、
02:14:20	少し自然形成とかれん不連続性が出ちゃうので、
02:14:24	やはりなかなか使うものとして難しいんじゃないかっていう問題も実は あったんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:14:31	そういうところが今回、保守性を考慮した時間でいろいろ見ていくと。
02:14:36	やっぱり波源を少し拡張して見ていく中で、これまでのパルスを考慮するしないってところの継続時間についても、
02:14:45	実は波源がもう少し拡張するともっと大きいものが出てきて種不連続性があるって、
02:14:51	ということが今回これ右側に出ちゃってるんですけど。
02:14:55	これを今回出す必要があるかどうか。
02:14:58	明示的に説明する必要があるかどうかっていうのは、
02:15:02	まず、
02:15:03	保守性を考慮した時間を施設側で施工しているので、
02:15:08	やはりそれを尊重して、
02:15:10	評価を変えるか変えないのかというところをまず判断した上で、
02:15:17	これまでの説明で説明しにくいところについてはこれは、
02:15:21	あまりもう説明しなくてもいいのかもしれないですね。
02:15:25	ちょっとそこら辺をだから、今回、どういうふうに、記者として方針変更をするのか。
02:15:32	というところとあわせて説明を説明しやすいようにしてもらった方がいいのかなってのはちょっと私のこれは、
02:15:38	所管ですけど。
02:15:40	ここはちょっと検討していただけますでしょうかね。
02:15:43	はい。私が言ったのは、18とか19に書いてる、こういうことをやりましたから、多分直接出てくる結果では、
02:15:53	ないんですよ。
02:15:55	あくまで、保守性を考慮した時間を定義してその評価を実施しただけしか書いてないのに、突如
02:16:02	潮流、木口田丸時間まで変わってるのは何ですかって、多分それ別の理由で変わったの、ここは変わってるんで。
02:16:09	はい。
02:16:11	うん。
02:16:12	こちら行った画像。
02:16:14	そういうようなことだと思いますけどね。はい。
02:16:17	あんまりそれ以上今だから、まず最後どれを残す同様のやり方を最後性として残すのかが、決まってないので、そこは
02:16:27	検討されてかないかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:16:29	いつも聞きたいことがあって、
02:16:32	実はちょっと今までも大分気になってたんですけど、パルスを考慮するしないっていう状況をいろいろ考えていくと、やっぱり
02:16:42	パルスが影響するか否かの境目が出てくる。
02:16:45	非線形性が出てきちゃって、急にこう、いきなり時間がぐっと増える。
02:16:51	組み合わせが出てきてしまうっていうことではあるんだけど、
02:16:57	逆に保守性を考慮した時間っていうものを採用した場合は、やっぱり大局的な地震による津波による、
02:17:05	大局的な子は形の長いところを取ってくるから、それから逆にそういうふうな非線形性が目立たなくなる。
02:17:16	ということでもちょっとあると思うんですけど。
02:17:20	大局的にはね他のサイトは多分そういうふうな説明をするんだろうと思うけど、
02:17:24	そういう意味で保守性を考慮した時間っていうものを、
02:17:29	を考慮すること、これを評価、評価として用いることのメリットっていうのは大きいんじゃないかなと思うんですが、
02:17:37	そこら辺はどう、どう考えていますか。
02:17:47	電力奥寺さん、保守性を考慮する時間についても、-4メーターっていう閾値で不連続性が出るので例えばちょっとした時間が、
02:17:59	ずれるとかっていう現象は不連続性はあるんですが今、伊波から私が今、見ていて思っていることなんですけれども、2羽から4はっていうのはどの波源にも共通していえるその、
02:18:12	行数といいますか、特徴なので、その範囲の中に、
02:18:17	すべて秒数、何、750秒とかいろいろあるんですけどその病棟、その25分だったっけ、大体、
02:18:25	2はようはないだっけ。
02:18:27	2、25分以下には確実にになるので、
02:18:31	それは今、貯留堰能容量等から考えて議論する話ではないのかもしれないですけども、
02:18:39	そういうような、
02:18:40	その範囲の中でのグレーに収まるということを知っていることです。
02:18:45	なので、取り方としては、保守性を考慮する時間のその貯留容量に対する評価として取る時間というのは、
02:18:54	今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:18:55	大体の傾向の中で大きく水位下降するものを、
02:18:59	の数字を拾う。
02:19:02	ある程度大きな与えを拾えているとは思っております。ちょっと今、
02:19:07	私の
02:19:09	考察しながらでの感想みたいになっているんです。そういう傾向かなと思ってます。数字としては、
02:19:19	あと1点で僕の確認で、これ、
02:19:22	これね、パルスを考慮しない時間っていうのが、今まで見てきましたと。
02:19:27	それよりも、この保守性を考慮したっていうのは短くなることは、
02:19:32	原理的にないんですよ。
02:19:34	だから、うか、考えるとしたら、このパルスを考慮しない時間のより、
02:19:41	よりちょっと長めに取るっていうようなそういう
02:19:45	中間としてパルスを考慮しない時間の、
02:19:48	中間というかそれをより、よりちょっと保守性を持たせたというようなそういう説明ですね。
02:19:58	ただ、多分今のやつは49ページとかを、
02:20:02	話ですよ。
02:20:03	基本基本概念として貯留堰を下回る時間が一番短くて、同じ場合もあるでしょうけどね、パルサー考慮しない時間が当然、次に大きくて、一番長くなるのが保守性を考慮した時間を、
02:20:16	なので、それぞれで見ると多分絶対逆転しない。
02:20:21	だってパルスを考慮するっていうのが多分数十秒みたいな、一応定義をして、それより大きい長いか短いかで定義してるけど、保守性を考慮する時間は、多分この一時的に、
02:20:32	明らかに水位が回復するようなものだったとしても第2号と第4%のものっていうふうやってるんで、多分そうだと思うんだけどね。
02:20:41	ただ、
02:20:43	ただそうそこでちょっと、多分、4049ページちょっと聞いておきたかったのが、多分まだ今のところこのどれを最後残すかっていうところは多分今決めかねている部分。
02:20:53	であって、一応何だろうこれ、この49ページには悩んでるのは、
02:21:00	当然ながら保守性考慮した時間が3者の比較で一番長くなるはずなんだけど、補正をコールした時間で一番この水位低下時間が長くなる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:21:10	やつを選んだとして、そのときに、果たして貯留堰を下回る時間とかパルスを考慮しない時間が、
02:21:19	そのグループの中で一番長くなるかという、バルク、その場合によっては、
02:21:26	ですよね。これ多分右側の保守性を考慮した時間の中に書いてあるパルスを考慮しない時間とか、貯留堰を下回る時間よりも左側に書いてあるパルスを考慮しないとか、
02:21:37	古い時期を下回る時間の方は多分長くなっちゃう場合もあるので、
02:21:41	保守性を考慮した時間で一番大きいものを選んで、はい0になるかというと、
02:21:47	ちょっとそこはといって多分右側に、今多分異なるとまで書いていてだからどうするかは今多分検討中っていう、
02:21:54	なんだと思うんですけど、このあたりだから結局最後
02:21:58	左側のようなものを、今後必要とされるのかどうかというところが、さっき冒頭で聞いた。
02:22:07	一応中津津波耐津波のところでも、
02:22:10	赤赤文字でやるといった評価が、今後、
02:22:14	基準津波の策定の過程で必要なのかどうかっちゃう、その考えとも関係してくるんだと思うんですけどね。
02:22:26	はい。
02:22:32	規制庁の名倉です。
02:22:34	少し大局的なところをちょっと気にして、
02:22:39	できるだけなんでちょっとす素直にお聞きしますけど、
02:22:43	これ保守性を考慮した時間で波源を選定すると。
02:22:47	3号炉取水口の下降側、
02:22:51	選定した、この水色、青系の波源、
02:22:56	保守性を考慮した時間の方は決まっています、
02:23:00	ということは、これ加古川に関しては、講師制を考慮した時間を等、
02:23:08	地震による津波の評価として採用した場合は、
02:23:13	これ組み合わせた場合は、ほぼこれで決まる。
02:23:18	反転しないっていうことになる。
02:23:22	んですかね、すみませんそこだけちょっと事実として。
02:23:25	ですからこの保守性を考慮した時間というものを仮に採用した場合は、
02:23:31	逆転現象という私たちが言ったものについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:23:35	基本的には発生しなくて、それに対しての説明っていうのは、実は最小限で済む展開になるのか。
02:23:44	それをちょっとお聞きしたかったですけど。
02:24:08	ないんだけど、
02:24:10	自然特性って連続性悪さをするかどうか。
02:24:28	長お待ちください。
02:26:17	後、
02:26:19	あと明細どこだっけ、48 ページかな。これは単に今度資料作る時にわかりやすくしてもらえばいいんですけど、48 ページ以降で、
02:26:29	既往の評価結果では保守的を考慮した時間はって言ってて、
02:26:33	これ希望の、
02:26:35	さ整理結果整理結果があってそれと、今回新しくやった補正を考慮した時間を見比べるとっていう意味ですよ、これ。
02:26:43	既往の整理結果。
02:26:45	当然保守性を考慮した時間って今回あたし新しくつけ出したものなんで、
02:26:53	何かもうすでに既往の整理結果の中に実は保守性を考慮した時間も、何か入ってとかってそういう意味じゃないですよこれ。
02:27:02	もともと整理したものに、追加で、この補正考慮した時間をプロットしてみると、過去の資料、
02:27:13	あげてるのこれ。
02:27:14	電力奥寺ですちゅ令和 3 年 12 月 24 日の資料でその時に、
02:27:20	定義していた保守性を考慮した時間とほぼ同様の内容です。
02:27:31	だからその当ても、何らかこの補正を考慮した時間があったってことですか、今の説明と違うのか。
02:27:39	北海道電力の青木です 48 ページに載せているグラフについては、令和 3 年 12 月 24 日の会合で用いた資料を載せているものです。
02:27:50	その際に、その当時の会合での保守性を考慮した時間というのを算出しておりまして、その結果が載っているため、
02:27:59	当ても算出しておりましてそのグラフを載せております。衛藤当時の言い分は、
02:28:04	この保守性を考慮した時間のパラスターの必要がないっていう主張のためにこのグラフ載せたんですけどちょっと今回は位置付けが違うものになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:28:15	そうそうそう。だから、ここで言ってる補正をコールこの48ページで書いている補正を考慮した時間は、今回新たに定義したものは、多分、多分ほぼ、
02:28:25	似たような数字が出るんだけど、
02:28:29	違うっていう今説明。
02:28:33	だから、蘇武君にここで、あれ出てくるから名前なんて言ったら多分説明
02:28:39	わかりやすく説明してあげてます。
02:28:53	だから、第2は、第4%の間を、
02:28:57	ここにALARAみたいなところは一緒なんだけど、はい。
02:29:01	うん。
02:29:15	言いたいことはわかって、
02:29:17	そうです。
02:29:25	この間、
02:29:30	なんだけど多分、波源ケースとかが微妙に変わっちゃってるから、それで違うとわかりました。
02:29:38	そういうちょっと裸でこういうふうに出てくると。
02:29:41	うん。まずいね。ちょっとどういうものなのかっていうのは、
02:29:47	わかりました。
02:29:51	すいません規制庁名倉でさっきちょっと聞き方を間違ったんですけど、
02:29:56	もともとはだから地震で選定すると。
02:30:00	青井の系統じゃないものが、
02:30:05	ほとんど真っ青に全体がなくなってしまったので反転現象。
02:30:09	逆転って言ったんだけど、
02:30:11	すいません、そういう意味で保守性を考慮した時間は今青系統で、
02:30:16	地震単独で決まってるんですけど、組み合わせた場合、イはこれが青のままという理解。
02:30:24	それと緑に変わる。
02:30:30	録画少しでも、だからそこは、
02:30:34	はい。あとは、7のこの青い、あ、わかりました。
02:30:39	うん。
02:30:41	はい。ということは拮抗している。
02:30:46	ということだということですね別に何か

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:30:51	逆転がどうのこうのとかそういう話ではない、ないということです、ここは。
02:30:56	はい。大体同じぐらいってことですね。
02:31:00	わかりましたもともとだから組み合わせのところで一体計算は同一波動場でパルスを考慮しない時間で一番長いやつが、
02:31:08	673 っていうのが、
02:31:10	もともと組み合わせのところあるんですけど、
02:31:14	組み合わせた場合はおそらくこれが、
02:31:17	今ここに書いてある実施地震単独のやつが若干増えるぐらいになるってことですね。
02:31:24	数字的には、
02:31:26	すごい
02:31:27	あ、すみません 19 ページの保守性を考慮した時間でこれ自身単独ですよ。
02:31:34	これを組み合わせると、これがどれぐらいのオーダーになるのかっていうのはちょっと今感覚的にはどんな感じなんですかね。
02:31:49	北海道電力の青木です地震単独の保守性を考慮した時間がどれぐらい組み合わせと増減するかっていうと、オーダーでいうと、二、三十秒程度のオーダーというような試算結果が出ているところです。以上です。
02:32:05	わかりました。
02:32:08	ということはもともと組合単独から組み合わせで、
02:32:11	500 数十秒のところは 600、
02:32:15	最大 673 秒とか 670 秒ぐらいまでになってたやつ。
02:32:19	については今回は、もし保守性を考慮した時間というものを採用した場合は 700 が、これが数十秒延びる。
02:32:28	程度。
02:32:29	という組み合わせでもそれほど大きくは、
02:32:32	今までよりは変わらないというふうな時間軸になるってことは、すみません、そういうことで理解しましてありがとうございます。
02:32:41	この辺りですけど関連なんですけど、これ、上昇があって、組み合わせると波源が入れ替わるから下降側の部分が上昇側でもチャンピオンになってしまうから、
02:32:52	だからこう分析をしてね、妥当性をこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:32:56	整理しなきゃいけないってわけなんですけれども、今の話を聞くとね下降側、これで、
02:33:02	逆転現象が発生しないんだと。
02:33:06	ということになると、どうどうなそれでも、
02:33:10	そうなってくるとあれなんですかね波源選定の妥当性とか北海道電力的には、それでもこうする、するんですかね、その思想、その場合はこうしなくていいような考え方とこう思っているのかどうなのか。
02:33:23	ちょっと今までの話と前提が変わってくるようなことなんでちょっと考え方だけ。
02:33:29	今、どうか、いや、のアイデアなんだったら、今までやっていってもらったらいいんですけれども、
02:33:37	ないで相談しますので少々お待ちください。
02:36:47	はあ。
02:36:48	それ 33 番の水位下降側のコメント。
02:36:52	これはだから前回いわゆるその水位回復を考慮するある程度のパルス、
02:37:00	を超えるような時間はこれは水位回復するというような、そういう評価をされていて、一応年度の趣旨はそうすると、たまたま何かそれを打ち消してしまうような、その地すべりの、たまたまですよ。
02:37:12	するようなものガイソウずらしていくと重なるの欠かさないのかみたいなそういう話だったんで、それは当然コメントとして出してるんですけど、今回大きく方針を、
02:37:22	変えたにあたって、あそこで説明がというか、
02:37:28	いや、新しく変えたようなもので、引き続きそういう風に存在していくと、間にある山賀打ち消されてって、それ全部つなげちゃったんですよ。
02:37:40	あそこどこまでその所、何ていうか、さっきも冒頭いて、2、前回から状況を変えて方針変わってるので、それも踏まえてどこまで真正面に直球 1 回してくるのか。
02:37:51	江田、こういう状況を変えたんですが、答えるべきものは何なのかっていう、
02:37:56	そのときにどこまでずっとパルスを考慮したものとか取引を下回る継続時間とかを、
02:38:04	何か、また再度その計算したり何なりをして説明しなきゃいけないのかっちゃうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:38:08	そこはよくよく考えた方がいいと思いますよ。
02:38:41	北海道電力奥寺です水位下降側のまとめについては、今大事なこととしては、耐津波設計が一でこういう評価をしますそれに基づいて、
02:38:52	基準津波の波源を、
02:38:55	このように設定していくということをきちんと説明することが主眼でその結果が波源として、変わるのか変わらないのか概ね一緒なのか、どのような評価になるのかというところを説明するのが、
02:39:10	わかりやすい説明なのかな、我々が主張したいところかなという、そこがピンボケしていたと。
02:39:17	というような、今の事実確認の中のやりとりと認識しましたのでその意味で、
02:39:24	構成の構成
02:39:28	掲載する内容等の精査をしたいと思います。以上です。
02:39:36	はい。あとさっきの48とか、ちょっとそのままね、つけるのかわちゅうのもあるんですけど今回ってその、
02:39:43	保守性を考慮した時間でこれの何かパラスタを、
02:39:48	いや必要はないんですよって説明を今回したいわけではないですよ。
02:39:53	例えば48だったり、
02:39:55	改めて令和3年の12月の資料そのままつけたりしてるし、或いは39ページも、なんか3ポツ2とかっていて、
02:40:06	何か補正を考慮した時間についてはほにゃらの理由から、
02:40:10	何かパラスタは、
02:40:13	県やらなくていいようなふうを考えていてしかしながらとかっていて、
02:40:18	あんまり何かここを、令和3年12月のやりとりを見ても、あんまりこう、ここに書いてあるような考え方で、
02:40:26	ですよ仮に、その水位下降量が最大となる波源と保守性を考慮した時間が最大とは一致したら、パラスタなんかやらなくていいです。
02:40:35	でも一致しなかったからプラスやらなきゃいけませんねなんてそんな議論を、
02:40:39	何かそこまで深い議論に、この令和3年12月でちょっとぱっと議事録とかを見たんですけど、たどり着いてなくてですね。
02:40:47	あんまり、ここをちょっとどういうふうな説明で、この部分使われるかにもよる使用目的にもよるんでしょうけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:40:55	あんまり何かパラスタをやらなくていやしかしやるみたいなの、そういうロジックをここで使う必要があるのかどうか。
02:41:03	その図をあえて持ち出す必要があるかどうかも含めて、ちょっとそこは考えてもらえばと思います。あと、
02:41:09	これも最後どれを基準津波の評価のときに津波評価助成とするか、それを決めた後になると思うんですけど、今今回何だ、
02:41:22	日本海島縁部の組み合わせ元のやつは、第2は第4%の間を、多少こう大きい回復のものがあったらつなげるっていう、そういうクライテリアにし、
02:41:33	物を足してもしかしたらそれを最初にせいにするのかもしれないですけど、
02:41:37	そうすると、阿部の式とかで落としてるやつなんかどうでもいいと思うんですけど、川白の地すべりとか、ああいうものの単独評価の時とか、
02:41:46	それわあ、どういうクライテリアで、その地すべり単独とかがっていうときに、
02:41:52	井出。
02:41:53	影響の大きい波源っていうのは、そっちは変えにくい或いはその会に変えるかどうかの、
02:42:00	議論をしなきゃいけないようなことってあるんですか。
02:42:08	奥寺です。地震以外の件については、川白がまず圧倒的におっきい他のものと比べて、それと1度しか下がらないという現象なので、
02:42:19	そこを詰める必要はないと思ってますで、地震のチェックと地震との組み合わせのチェックでよいかと考えてます。
02:42:27	はい。なので、一応そういう形、今回、ある程度組み合わせとか、先々の影響も考慮して、もし、考え方をですね、
02:42:37	第2は第4、変えたときに、他のものは変えなくていいっていうところは、
02:42:43	ちゃんとそこは確認されているということですねはいはい、わかりました。
02:42:47	すいませんちょっとなので少し今、最終的な方針をどうされるかもうちょっと社内で検討されてそれに応じて最後この加工案を説明し、
02:42:59	準備中ということなんで、これは次の説明の時に、
02:43:03	結果とかですね、どういうふうな考えたのかっていうのを聞かせてもらえればと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:43:35	谷です。もうちょっとね何かいろいろ聞きたかったことあったんですけども、
02:43:40	もうなんか時間が大分押しているので、ちょっと私の方から最後1点。
02:43:45	コメント回答で、
02:43:49	どこだったっけか柱の第2は移行の影響が、今整理できていないっていう状況なんですけれども、
02:43:55	多分ねこれが、
02:43:57	整理できなかつたら、今聞いてるところの大前提が崩れる。
02:44:01	ていう。
02:44:03	コメントなんすよね。例えば頭第2はと組み合わせる必要が出てきたら今の話も全部、もう1件、もっともっと追加しなきゃいけなくなると、これはちょっと今、ヒアリングで確認したいのが、
02:44:15	今は整理できてないけど、もう見込みとしては、ちゃんと説明できる見込みを持っている。
02:44:22	ですか、あとは資料にするだけ或いはもうまとまっているような状況なんですか。
02:44:34	電力奥寺です。解析は作業所終了しておりますて見整理できる見込みで考えております。
02:44:43	はい、谷です第2は以降は、
02:44:46	重ね合わせる重ね合わせで考慮する必要ないよっていう説明が、次に、根拠とともに示されるということで理解しました。
02:44:58	他、確認しとくことないですか。
02:45:04	路口さんとか山下さんとか、
02:45:06	或いは、
02:45:08	いいですか。
02:45:12	どうしてもっていうことを、
02:45:17	蘇武さん。
02:45:20	はい。北海道電力からは何かあります。
02:45:25	はい。
02:45:27	規制庁谷です。もう時間も押してますので、ヒアリングそろそろ終わりたいと思うんですけど北海道電力から何かありましたら。
02:45:30	言っただけたらと思います。
02:45:32	北海道電力の奥寺でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:45:35	固定の件について、若干、今後の工程の件について若干補足させていただきたいと思います。
02:45:44	作昨日、
02:45:46	昨日ですけれども、
02:45:50	6月8日のプラント側審査会合に向けて工程を提出させていただいております。その中で、
02:45:52	今、今までと変わったところとして基準津波関連 No. 7 ですけれども、
02:46:04	2度目の資料提出が5月29週、今週になりますけれども、その提出予定になっていたものを、実情を考慮いたしまして、
02:46:17	炉2周遅れに全穴埋めをして提出すると、というような予定に変更させていただいた上で、
02:46:26	介護の予定は変わらず、6月、
02:46:30	26の終了は、当社として目指しているという内容に変更して提出させていただいております。
02:46:40	補足の説明としては以上でございます。
02:46:44	入ってるんです。これあれですよねプラント側との面談の時に、ざくっとそういった説明していったのもわかるんですけど今改めて、次の会合ではこういった工程が出ますよってという説明かと思いましたので、
02:46:57	その内容についてはですね会合の中で確認して、
02:47:01	必要に応じて議論したいと思いますので、また会合で説明をお願いします。
02:47:07	電力奥寺でございます。承知いたしました。
02:47:11	はい。他は特にはないですかなければヒアリングを終わります。
02:47:16	はい。それではヒアリング以上にします。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。